

令和5年度

授 業 概 要 (シラバス)

米子東高等学校 定時制課程

年次	氏名	
----	----	--

目 次

概要

I 科目一覧	1
II 必履修科目一覧	1

1 年次科目

国 語	
現代の国語	2
言語文化	4
地理歴史	
地理総合	6
数 学	
数学 I	8
理 科	
科学と人間生活	10
保健体育	
体 育	12
保 健	14
英 語	
英語コミュニケーション I	16

家 庭

家庭基礎	18
------	----

2 年次科目

国 語	
国語表現	20
文学国語	22
古典探究	24
地理歴史	
歴史総合	26
公 民	
公 共	28
倫 理	30
数 学	
数学 II	32
数学 A	34
数学 B	36
理 科	
物理基礎	38
化学基礎	40
生物基礎	42
地学基礎	44
保健体育	
体 育	46
保 健	48
芸 術	
音楽 I	50
書道 I	52

外国語・英語

英語コミュニケーション II	54
論理・表現 I	56
ディベート・ディスカッション I	58
総合英語 I (4 単位)	60

総合英語 I (3 単位)	62
エッセイライティング I	64

家 庭

家庭総合	66
保育基礎	68
フードデザイン	70

情 報

情報 I	72
------	----

3 年次科目

国 語	
国語表現	74
現代文 A	76
古典 A	78

地理歴史

世界史 A	80
日本史 A	80

公 民

現代社会	82
倫 理	84
応用社会	86

数 学

数学 II	88
数学 A	90
数学 B	92

理 科

物理基礎	94
化学基礎	96
生物基礎	98
地学基礎	100

保健体育

体 育	102
保 健	104

芸 術

音楽 I	106
書道 I	108

外国語・英語

コミュニケーション英語 II	110
英語表現 I	112
英語会話	114
総合英語 (4 単位)	116
総合英語 (3 単位)	118
異文化理解	120

家 庭

家庭総合	122
子どもの発達と保育	124
フードデザイン	126

情 報

社会と情報	128
-------	-----

総合的な探究の時間	130
-----------	-----

(あなた)の時間割	裏表紙
-----------	-----

I 科目一覧

1 年次 (25 単位)		群 (単位数)	2 年次 (30 単位×2)	3 年次 (30 単位×2)
授業科目	現代の国語 (2)	A (4)	数学Ⅱ 物理基礎 総合英語 保育基礎	数学Ⅱ 物理基礎 総合英語 子どもの発達と保育
	言語文化 (2)			
	体育 (2)	B (4)	文学国語 歴史総合 英語コミュニケーションⅡ フードデザイン	現代文A 世界史A 日本史A コミュニケーション英語Ⅱ フードデザイン
	保健 (2)			
	数学Ⅰ (3)	C (3)	公共 化学基礎 論理・表現Ⅰ	現代社会 化学基礎 英語表現Ⅰ
	家庭基礎 (2)	D (2)	数学B 生物基礎	応用社会 数学B 生物基礎
	英語コミュニケーションⅠ (3)		体育 (3)	体育 (3)
通信科目	地理総合	E (4)	地学基礎 保健※ 音楽Ⅰ 書道Ⅰ ディベート・ディスカッションⅠ	地学基礎 保健※ 音楽Ⅰ 書道Ⅰ 英語会話
	科学と人間生活	F (4)	国語表現 家庭総合 情報Ⅰ エッセイライティング	国語表現 家庭総合 社会と情報 異文化理解
O 限		G (3)	古典探究 総合英語Ⅰ	古典A 総合英語
		H (2)	倫理 数学A	倫理 数学A

※E群2・3年次「保健」は、未履修者のみを対象とする。

II 必履修科目一覧

() 内は標準単位数

	1・2 年次	3 年次
国 語	現代の国語 (2) 及び言語文化 (2)	国語総合 (4)
地 理 歴 史	地理総合 (2) 及び歴史総合 (2)	世界史A (2) 及び 地理A (2) 又は日本史A (2)
公 民	公共 (2)	現代社会 (2)
数 学	数学Ⅰ (3)	
理 科	科学と人間生活 (2) 及び 物理基礎 (2)・化学基礎 (2)・生物基礎 (2)・地学基礎 (2) から1科目 合計2科目 または 物理基礎 (2)・化学基礎 (2)・生物基礎 (2)・地学基礎 (2) から3科目	
保 健 体 育	体育 (7～8) 及び保健 (2)	
芸 術	音楽Ⅰ (2)・書道Ⅰ (2) から1科目	
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ (3)	コミュニケーション英語Ⅰ (3)
家 庭	家庭基礎 (2) 及び家庭総合 (4) から1科目	
情 報	情報Ⅰ (2)	社会と情報 (2)

教 科 名		国語	科目名	現代の国語	単位数	2
対象学年		1 年	一般・通信	必修・選択必修・選択		
科目の目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学習内容の概要		A 話すこと・聞くこと ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成を工夫して意見を述べること。 イ 目的や場に応じて、効果的に話したり聞き取ったりすること。 ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。 エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 B 書くこと ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。 イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読みとったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。				
科目の評価の観点及びその趣旨		知識・技能【知】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	思考・判断・表現【思】 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度【態】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。		
教科書、教材など		○高等学校 新編現代の国語(第一学習社) ○授業用ワークシート ○辞典				
授 業 形 態		2クラスに分けて授業を行う。習熟度クラス。				
年 間 授 業 計 画						
学期	月	単 元	学 習 内 容 (ねらい)	時 間	評 価	
					【知】	【思】
						【態】
1	4	新しい出会い	・内容や構成、論理の展開を的確に捉える。	7	小テスト	WS

		「未知」はいくらでもある ナマケモノになる 話して伝える ・話し方の工夫・待遇表現 ・論理的な表現	・TP0に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手に伝わりやすい表現方法を理解する。	3	WS	(0, 7, 0) WS (2, 1, 0)	観察
	5	言葉が開く世界 言語としてのピクトグラム	・ピクトグラムの「言語」機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。	5	小テスト	WS (5, 0, 0)	
	6	書いて伝える ・書き方の基礎レッスン ・身近な製品の取扱説明書を作成する	・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・情報を的確に説明する方法を理解する。	3	WS	WS (0, 3, 0)	観察
		【1学期中間考査】		1	考査	考査	
	7	人間の風景 十六歳のとき	・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	6	小テスト	(0, 6, 0)	WS
	8	話して伝える ・情報の探索と選択 ・情報源の明示	・情報の信頼性や妥当性の吟味のしかたや引用の具体的な方法を理解する。	3	WS	(3, 0, 0)	観察
	9	論理分析 【対比】「間」の間隔【具体と抽象】日本語は世界をこのように捉える【推論】AIは哲学できるか 社会と人間 「弱いロボット」の誕生 現代と社会 イースター島になぜ森がないのか	・例示などの修辞を理解する。 ・文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・教材から、自分の意見や考えを論述する。	4		WS (0, 0, 4)	
		【1学期期末考査】		6	小テスト	WS (6, 0, 0)	
			・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。	6	小テスト	(0, 6, 0)	WS
				1	考査	考査	
2	10	人間の風景 臆病な詩人、街へ出る 話して伝える ・スピーチで自分を伝える ・相手に伝わる案内をする ・理想の修学旅行をプレゼンする・合意形成のための話し合いを行う	・他者との関わりを通して自身を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見直す契機とする。 ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他者のスピーチを聞き、評価方法を学ぶ。 ・話し合いの進め方のルールを理解する。	6	小テスト	WS (0, 0, 6)	
				4		WS (4, 0, 0)	観察
	11	言葉が開く世界 言葉の海のオノマトペ	・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。	6	小テスト	(0, 6, 0)	WS
	12	【2学期中間考査】		1	考査	考査	
	1	社会と人間 人はなぜ仕事をするのか	・筆者の仕事観を踏まえ、自身の仕事観を醸成する。	6	小テスト	WS (0, 2, 4)	
	2	現代と社会 「材料科学」のゆくえ 書いて伝える ・実用的な手紙文の書き方 ・地域の魅力を紹介する ・自校の生徒の生活実態を調査する ・社会に対する意見文を書く	・教材を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。 ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くための方法を理解する。 ・目的に沿った調査方法を理解、実践する。	5	小テスト	WS (0, 5, 0)	
				4		WS (0, 4, 0)	観察
	3	【2学期期末考査】		1	考査	考査	
						(20, 40, 14)	
備考			合計	78	WS : ワークシート		

教科名		国語	科目名	言語文化	単数	2	
対象学年		1年		一般・通信	必修・選択必修・選択		
科目の目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
学習内容の概要		A 話すこと・聞くこと ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成を工夫して意見を述べること。 イ 目的や場に応じて、効果的に話したり聞き取ったりすること。 ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。 エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 B 書くこと ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。 イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読みとったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。					
科目の評価の観点及びその趣旨		知識・技能【知】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	思考・判断・表現【思】 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度【態】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。			
教科書、教材など		○高等学校 新編現代の国語(第一学習社) ○授業用ワークシート ○辞典					
授業形態		2クラスに分けて授業を行う。習熟度クラス。					
年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容(ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	小説を読む(一)島の少年一船 古文入門	・ものの見方、感じ方、考え方を捉える。 ・古典に親しみ、我が国の言語文化の理解を	3 5	小テスト WS	WS (0, 0.3)	WS

教 科 名	地理歴史	科目名	地理総合	単位数	4
対象学年	1 年	一般・通信	必履修	選択必履修・選択	
科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す				
学習内容の概要	1 章 地図とGISの活用 1・球面上の世界 2・国家の領域と領土問題 3・国内や国家間の結びつき 4・日常生活のさまざまな地図 2 章 生活文化の多様性と国際理解 1・自然環境と生活文化 2・産業の発展の生活文化 3・言語・宗教と生活文化 4・グローバル化の進展と生活文化 3 章 地球的課題と国際協力 1・人口・食糧問題 2・居住・都市問題 3・資源・エネルギー問題 4・地球環境問題 4 章 生活圏の諸課題 1・自然環境と防災 2・持続可能な地域づくり				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に観られる課題の解決に向けて構想したり考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理や歴史に関わる所持小について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。		
教科書、教材など	『わたしたちの地理総合 世界から日本へ』（二宮書店） 『基本地図帳』（二宮書店）				
授業形態	一斉授業、レポート				

年 間 授 業 計 画								
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	時間	評 価			
					【知】	【思】	【態】	
1	4	1章 地図とGISの活用	球面として成り立つ世界への認識を持ち、その中での日本の位置を理解するため緯度・経度の仕組み、時差計算の技能各種地図の図法や活用法について学習する。また、領域や国家について学習し、日本が抱える領有権問題にも理解を深める。	2	定期考査 レポート 実習	ワーク シート	観察	
	5	1・球面上の世界 2・国家の領域と領土問題 3・国内や国家間の結びつき 4・日常生活のさまざまな地図		3				
	6	〔定期考査〕		1				
	7	2章 生活文化の多様性と国際理解		4				
	8	1・自然環境と生活文化 2・産業の発展の生活文化 3・言語・宗教と生活文化 4・グローバル化の進展と生活文化	3	定期考査 レポート	ワーク シート			
	9	〔定期考査〕	2					
			4					
				1				
		10	3章 地球的課題と国際協力	地球規模で取り組むべき世界の諸課題について、これまでに学習した地図等の資料を活用して理解を深め、課題の解決について自分の意見が述べられるようにする。このため、各課題について、複数の国や地域を取り上げ学習する。	3	定期考査 レポート	ワーク シート	観察
11		1・人口・食糧問題 2・居住・都市問題	4					
12		〔定期考査〕	1					
		3・資源・エネルギー問題	3					
1		4・地球環境問題	日本列島の地形や気候の特徴を理解し自然の恩恵がある一方、災害が発生する要素があることを理解する。 災害の発生について理解するため、地図や資料を活用する技能を身につけ、減災・防災意識の向上を図る。	3	定期考査 レポート 実習	ワーク シート	観察	
2		4章 生活圏の諸課題 1・自然環境と防災 2・持続可能な地域づくり		3				
		〔定期考査〕		1				
3			日本が抱える地域的課題について、身近な地域を取り上げ、聞き取りなどの調査を行う技能を身につけ、結果をまとめ、考察・報告する技能を身につける。	1				
備考			合計	39				

教科名	数学	科目名	数学Ⅰ	単位数	3
対象学年	1 年	一般・通信	必修	選択必修・選択	
科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
学習内容の概要	(1) 数と式 数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。 (2) 2次関数 2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。 (3) 三角比 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。 (4) 集合と論証 集合に関する基本的な概念を理解する。命題に関する基本的な概念を理解するとともに、基本的な命題の証明ができるようにする。 (5) データの分析 統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。 〔課題学習〕学んだ内容を、生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題に取り組む。				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	数学Ⅰにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。		
教科書、教材など	『高校数学Ⅰ』（実教出版）				
授業形態	一斉授業（習熟度別授業）				

年 間 授 業 計 画								
学期	月	単 元	学習内容 (ねらい)	時間	評 価			
					【知】	【思】	【態】	
1	4	1章 数と式 1節 整式 1. 文字を含んだ式のきまり 2. 整式 3. 整式の加法・減法 4. 整式の乗法 5. 乗法公式による展開 6. 因数分解	・式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して式の展開や因数分解を能率よく計算できるようにする。	18	小テスト	小テスト	観察 小テスト	
	5				小テスト	小テスト		
	6	2節 実数 1. 平方根とその計算 2. 実数	・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解する。・分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。	11	中間考査	中間考査		
	7	3節 方程式と不等式 1. 1次方程式 2. 不等式 3. 不等式の性質 4. 1次不等式 5. 連立不等式 6. 不等式の応用	・不等式の解の意味・不等式の性質について理解し、1次不等式が解けるようにする。	10				
	8	2章 2次関数 1節 関数とグラフ 1. 1次関数とそのグラフ 2. 2次関数とそのグラフ	・関数の概念について理解し、2次関数のグラフがかけられるようにする。	15	期末考査	期末考査		
	9							
	10	2節 2次関数の値の変化 1. 2次関数の最大値・最小値 2. 2次関数のグラフと2次方程式 3. 2次関数のグラフと2次不等式	・2次関数の値の変化についてグラフを用いて考察し、その最大値や最小値を求められるようにする。・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解するとともに、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	11	小テスト	小テスト	小テスト	
	11	3章 三角比 1節 三角比 1. 三角形 2. 三角比 3. 三角比の利用 4. 三角比の相互関係	・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解するとともに、鋭角の三角比を利用して2地点の標高差や水平距離を求められるようにする。	10	中間考査	中間考査		
	12	2節 三角比の応用 1. 三角比の拡張 2. 三角形の面積 3. 正弦定理 4. 余弦定理 5. 正弦定理と余弦定理の利用	・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解するとともに、正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求められるようにする。・三角比を用いて三角形などの面積を求めたり、空間図形の考察に活用できるようにする。	12	小テスト	小テスト	小テスト	
	1	4章 集合と論証 1節 集合と論証 1. 集合と要素 2. 命題 3. いろいろな証明法	・集合に関する基本的な概念を理解する。・命題に関する基本的な概念を理解するとともに、基本的な命題の証明ができるようにする。	9	小テスト	小テスト	小テスト	
2	2	5章 データの分析 1節 データの分析 1. 統計とグラフ 2. 度数分布表とヒストグラム 3. 代表値 4. データの散らばり 5. 外れ値 6. 相関関係 7. 仮説検定の考え	・統計の基本的な考えを理解するとともに、データの散らばりを数値で表してデータの傾向を把握したり、散布図や相関係数を用いて2つのデータの相関を把握できるようにする。	14	期末考査	期末考査		
	3							
		課題学習 1. 黄金比と $\sqrt{}$ の計算 2. 売り上げ金額の最大値を求めてみよう 3. 角度を変えて斜面を滑ろう 4. 何票とると当選? 5. カード集めの問題	・本文で学んだ内容を、生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題に取り組む。	7				
備考				合計	117			

教 科 名	理科	科目名	科学と人間生活	単 位 数	4
対象学年	1 年	一般・通信	必修修・選択必修修・選択		
科目の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。				
学習内容の概要	(1) 科学技術の発展 科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。また科学技術の発展と人間生活との関わりについて科学的に考察し表現する。 (2) 人間生活の中の科学 光や熱の科学、物質の科学、生命の科学、宇宙や地球の科学と人間生活との関わりについて認識を深めるとともに、それらの観察、実験などに関する技術を身に付ける。 光や熱の科学、物質の科学、生命の科学、宇宙や地球の科学について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連づけて、科学的に考察し表現する。 (3) これからの科学と人間生活 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての学習を踏まえて、課題を設定し探究することで、科学と人間生活との関わり方について認識を深め、科学的に考察し表現すること。				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に係わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
教科書、教材など	『科学と人間生活』（実教出版），授業プリント，レポート				
授 業 形 態	一斉授業				

年 間 授 業 計 画							
学期	月	単 元	学習内容（ねらい）	時間	評 価		
					【知】	【思】	【態】
	4	第1章 科学技術の発展	科学技術の発展について科学が果たす役割を学び科目の目標を把握する。 物理・化学・生物・地学の各分野の内容を探究活動を実践しながら学ぶ際の基本を学ぶ	2	レポート①	レポート①	ワークシート
	5	2章 物質の科学	タンパク質や遺伝子免疫など現代社会で必須となる概念の理解を通して自らの生命現象について理解し、探究活動を通して実験操作や考察の基本を身に付ける。	9	レポート②	レポート②	
	6	3章 生命の科学	身近な存在の衣料や食品を化学の視点で理解する力を養うとともに興味を持って学ぶ意欲を身に付ける。さらに、探究活動を通して実験操作や考察の基本を身に付ける。	9	レポート③	レポート③	ワークシート
	7			定期考査	定期考査		
	8			レポート④	レポート④		
	9			レポート⑤	レポート⑤	ワークシート	
	10	4章 光や熱の科学	光についての基本的性質を学び、科学技術を理解する上でも重要な電磁波について理解する。さらに、探究活動を通して実験操作や考察の基本を身に付ける。	9	レポート⑥	レポート⑥	
	11			レポート⑦	レポート⑦	ワークシート	
	12			定期考査	定期考査		
	1	5章 宇宙や地球の科学	人間生活へ大きな影響を与える太陽や月について、潮汐などの現象を通して理解する。さらに、太陽放射やそれによる地球大気の運動など身近な気象現象と結びつけ考える力を養う。さらに、データを収集して考察する方法など身に付ける。	7	レポート⑧	レポート⑧	
	2			レポート⑨	レポート⑨	ワークシート	
	3			定期考査	定期考査		
備考			合計	39			

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2
対象学年	1 年	一般 通信	必修 選択必修・選択		
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	○体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 ○陸上競技 自己の能力に応じて記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ア 競走 イ 跳躍 ウ 投てき ○球技 チームの課題や自己の能力に応じて次の運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。 ア) バスケットボール イ) サッカー ウ) バレーボール エ) 卓球 オ) バドミントン カ) ソフトボール ○体育理論 運動やスポーツの合理的、計画的な実践や生涯にわたる豊かなスポーツライフを送る上で必要となるスポーツに関する科学的知識等を身につけさせる。				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解していると同時に、目的に応じた技能を身につけている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解していると同時に、技能を身につけている。	思考・判断・表現【思】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫していると同時に、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断していると同時に、それらを他者に伝えている。	主体的に学習に取り組む態度【態】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。		
教科書、教材など	必要に応じて視聴覚教材				
授業形態	体づくり運動・体育理論・陸上競技については一斉授業とし、球技については選択授業とする。				

年 間 授 業 計 画							
学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1 学期	4	体づくり運動		7	○	○	○
		球技	バスケットボール バレーボール	10	○ ○	○ ○	○ ○
	5						
	6						
	7	陸上競技	競走 跳躍 投てき	10	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	8	球技	サッカー ソフトボール	12	○ ○	○ ○	○ ○
	9						
2 学期	10	球技	バスケットボール バレーボール	33	○ ○	○ ○	○ ○
	11		バドミントン 卓球		○ ○	○ ○	○ ○
	12						
	1						
	2	体育理論	スポーツの文化的特性と現代スポーツの発展	6	○	○	○
	3		運動やスポーツの効果的な学習方法 豊かなスポーツライフの設計		○ ○	○ ○	○ ○
備考				合計	78		

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	2
対象学年	1 年	一般・通信	必修・選択必修・選択		
科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	(1) 現代社会と健康 我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が適切な生活行動を選択し実践すること及び環境を改善していく努力が重要であることを理解できるようにする。 (2) 安全な社会生活 私たちの周りには交通事故、自然災害、犯罪といった危険が多くある。これらの危険にどう対処していけば良いか、また安全安心な街づくりのためにどういう取り組みをすれば良いか理解し実践できるようにする。 (3) 生涯を通じる健康 生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することの重要性が理解できるようにする。 (4) 健康を支える環境づくり 社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の健康、労働と健康について理解できるようにする。				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】 健康・安全の意義を理解するとともに心身の機能の発達や心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し知識・技能を身につけている。	思考・判断・表現【思】 自他の心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に考え、選択すべき行動を適切に判断している。	主体的に学習に取り組む態度【態】 自他の心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとする。		
教科書、教材など	「高等学校 保健体育 Textbook」 (第一学習社) 「高等学校 保健体育 Activity」 (第一学習社)				
授業形態	・一斉授業 ・单元ごとにActivityを学習しながら、教科書の中身を発展させる。 ・視聴覚教材を使い、学習の理解を深める。 ・本課程は原則2年次と3年次が同一の選択群を履修する教育課程と				

		なっており 1 年次及び 2 年次保健を 1 単位ずつ配置した場合自動的に 3 年次も保健を履修せざるを得ない。つまり 3 年次のみが履修する 1 単位科目の設置、または 3 年次のみ 1 単位増加させた選択群の設置ができないことから保健を 2 カ年にわたり履修させることができない。よって 1 年間で 2 単位としている。					
年 間 授 業 計 画							
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	時間	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1 学期	4	第 1 章 現代社会と健康	健康の考え方	1 9	○	○	○
	5		現代の感染症とその予防		○	○	○
	6		生活習慣病などの予防と回復		○	○	○
			喫煙、飲酒、薬物乱用と健康		○	○	○
		1 学期中間考査	1	○			
			精神疾患の予防と回復	1 8	○	○	○
	7	第 2 章 安全な社会づくり					
	8		安全な社会づくり		○	○	○
		応急手当		○	○	○	
	9	1 学期末考査	1	○			
2 学期	10	第 3 章 生涯を通じる健康	生涯の各段階における健康	1 9	○	○	○
	11		労働と健康		○	○	○
	12	2 学期中間考査	1	○			
	1	第 4 章 健康を支える環境 づくり	環境・食品と健康	1 8	○	○	○
	2		保健・医療制度と機関		○	○	○
		2 学期末考査	1	○			
	3						
備考			合計	7 8			

教 科 名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅠ	単数	3		
対象学年	1 年	一般・通信	必修 選択必修・選択				
科目の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと（五つの領域）の言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して情報や考え等を的確に理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。						
学習内容の概要	1) 音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを言語活動を通して理解し、コミュニケーションにおいて活用できるスキルを身に付ける。 2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報を整理し、日常的・社会的な話題について考え、英語で表現したり、伝え合ったりする。 3) 五つの領域別及び複数の領域の統合的な言語活動を行う。 例) 聞き取った内容について話したり、書いたりして伝え合う。読んだ内容について話したり、書いたりして伝え合う。情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う。対話や説明などを聞いたり、読んだりして、賛成や反対の立場から理由や根拠とともに情報や考えを整理して発表したり、文章にしたりする。情報、考え、気持ちなどを理由や根拠をもとに書いて伝える。等						
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】				
	音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを、使用する語句や文、情報量などについて多くの支援を活用して理解したり、やりとりしたり、聞いたり、読んだりすることが出来る。また、内容の概要や要点を捉える事が出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら、自分なりの理由や根拠をもとに、考えや気持ちを話したり、書いたりして伝えることが出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちを積極的に話したり、書いたりして伝えようとする。また、読んだり、聞いたり、相手とやりとりした内容を理解し、不明な点について質疑応答することが出来る。				
教科書、教材など	Amity English Communication I（開隆堂）						
授業形態	一斉授業						
年 間 授 業 計 画							
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	時	評 価		
一学期・前期	4	GET READY 1～4	○言語材料：数字／文字／品詞 ○ねらい：地域での活動について短いやり取りが出来るようになる。	7	【知】言語材料の機能等について理解し、読んだり、聞いた	【思】題材についての自分の考えや気持ちを話したり、書い	【態】自分の考えや気持ちを主体的に伝えようとし、相手の
	5	Lesson 1 The Beautiful Scenery	○言語材料：be動詞・一般動詞の現在形 ○ねらい：お気に入りの場所について、理由を述べたり、説明出来るようになる。	11	り、やりとりした概要・要点を把握できる。（小テスト・ワークシート）	たり、やり取りして伝える事が出来る。（パフォーマンス課題）	発言について質疑応答等して理解しようとする。（観察・ワークシート・レポート）
	6	Lesson 2 My Best Friend	○言語材料：be動詞・一般動詞の過去形 ○ねらい：大切な人について意見をまとめて発表出来るようになる。	11			
		前期中間考査	○聴き取り・筆記問	1	聴き取り・筆記問題のスコア		
	7	Lesson 3 Love for Dance	○言語材料：進行形／助動詞 ○ねらい：コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表出来るようになる。	11	言語材料の機能等について理解し、読んだり、聞いた	題材についての自分の考えや気持ちを話したり、書い	自分の考えや気持ちを主体的に伝えようとし、相手の
	8				り、やりとりした概要・要点を把握できる。（小テスト・ワークシート）	たり、やり取りして伝える事が出来る。（パフォーマンス課題）	発言について質疑応答等して理解しようとする。（観察・ワークシート・レポート）

	9	FOCUS+1	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：好きなスポーツ選手や好きな有名人についてやり取りしたり、自己紹介が出来るようになる。	5	言語材料の機能等について理解し、読んだり、聞いた	題材についての自分の考えや気持ち	自分の考えや気持ちを主体的に伝えよう、相手の発言について質疑応答等して理解しようとする。(観察・ワークシート・レポート)
		Lesson 4 Endangered Species	○言語材料：不定詞 ○ねらい：動物についてやり取りしたり、好きな動物について発表出来るようになる。	12	概要・要点を把握できる。(小テスト・ワークシート)	を話したり、書いて伝える事が出来る。(パフォーマンス課題)	
		前期期末考査	○聴き取り・筆記問・実技評価※授業内実施	1	聴き取り・筆記問題のスコア	実技評価等	
二 学 期 ・ 後 期	10	Lesson 5 The History of Chocolate	○言語材料：動名詞 ○ねらい：健康や余暇についてやり取りしたり、考えをまとめて発表出来るようになる。	9	言語材料の機能等について理解し、読んだり、聞いた	題材についての自分の考えや気持ち	自分の考えや気持ちを主体的に伝えよう、相手の発言について質疑応答等して理解しようとする。(観察・ワークシート・レポート)
		Lesson 6 Our School	○言語材料：比較(原級・比較級・最上級) ○ねらい：好きな教科等についてやり取りしたり、部活動等について発表出来るようになる。	9	り、やり取りした概要・要点を把握出来る。(小テスト・ワークシート)	を話したり、書いて伝える事が出来る。(パフォーマンス課題)	
	11	FOCUS+2	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：好きな音楽や休日の過ごし方等についてやり取り出来るようになる。	2			
		COMMUNICATE+1	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：買物の場面で、客・店員それぞれの立場でやり取りすることが出来るようになる。	2			
	11	後期中間考査	○聴き取り・筆記問	1	聴き取り・筆記問題のスコア		
		Lesson 7 Serendipity	○言語材料：現在完了 ○ねらい：日常生活や経験等についてやり取りしたり、まとめて発表出来るようになる。	7	言語材料の機能等について理解し、読んだり、聞いた	題材についての自分の考えや気持ち	自分の考えや気持ちを主体的に伝えよう、相手の発言について質疑応答等して理解しようとする。(観察・ワークシート・レポート)
	1	Lesson 8 Sapeurs	○言語材料：受動態 ○ねらい：服装等についてやり取りしたり、大切なものについて発表出来るようになる。	7	り、やり取りした概要・要点を把握出来る。(小テスト・ワークシート)	を話したり、書いて伝える事が出来る。(パフォーマンス課題)	
		Lesson 9 Special Makeup Effects	○言語材料：分詞の形容詞的用法 ○ねらい：好きな映画等についてやり取りしたり、それらについて発表出来るようになる。	7			
	2	Lesson 10 Clean Water	○言語材料：関係代名詞 ○ねらい：平和に寄与した人等についてやり取りしたり、水について発表出来るようになる。	9			
	3	後期期末考査	○聴き取り・筆記問・実技評価※授業内実施	1	聴き取り・筆記問題のスコア	実技評価等	
		FOCUS+3	○言語材料：仮定法／ここまでの既習事項 ○ねらい：手紙やメール等についてやり取りしたり、与えられたテーマで意見を発表出来る。	2	言語材料の機能等について理解し、読んだり、聞いた	題材についての自分の考えや気持ち	自分の考えや気持ちを主体的に伝えよう、相手の発言について質疑応答等して理解しようとする。(観察・ワークシート・レポート)
		Communication+2	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：道案内の場面で、効果的にやり取りすることが出来るようになる。	2	り、やり取りした概要・要点を把握出来る。(小テスト・ワークシート)	を話したり、書いて伝える事が出来る。(パフォーマンス課題)	
備考			合計	117			

教科名		家庭	科目名	家庭基礎	単数	2	
対象学年		1 年		一般・通信	必修・選択必修・選択		
科目の目標		生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
学習内容の概要		第1章 これからの人生について考えてみよう 第2章 自分らしい生き方と家族 第3章 子どもとかかわる 第4章 高齢者とかかわる 第5章 社会とかかわる 第6章 食生活をつくる 第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる 第9章 消費行動を考える 第10章 経済的に自立する ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動					
科目の評価の観点 及びその趣旨		知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】			
		生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。			
教科書、教材など		教科書「家庭基礎 気づく力 築く未来」（実教出版）					
授業形態		一斉授業、実習					
年 間 授 業 計 画							
期	月	単元	学習内容	期	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1 学期 (前期)	4	第1章 これからの人生について考えてみよう 1節 自分の未来予想図を描こう 2節 これからの人生をデザインする	・ライフステージにおける発達段階について学び、現在の自分の課題を考える。 ・こんにちの社会背景を踏まえて、具体的に生涯にわたる生活設計を考える。	2	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	5	第2章 自分らしい生き方と家族 1節 自立と共生 2節 ライフキャリア 3節 共に生きる家族 4節 家族に関する法律	・これからの自分自身と社会のあり方を展望する。 ・働く意義とどのような仕事（職場）で働きたいと思うかを考える。 ・家族が抱える問題を踏まえて、家族を支えるしくみについて具体的に考える。 ・家族の抱える問題について学び、具体的なサポートのあり方について考える。	4	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	6	第3章 子どもとかかわる 1節 子どもとは 2節 子どもの発達 3節 子どもの生活 4節 子どもをはぐくむ 5節 子どものための社会福祉	・青年期の健康を学ぶことで、次世代を担う子どもを育て、はぐくんでいくことの責任感を養う。 ・子どものからだの成長のようすを学ぶ。 ・子どもの食生活・衣生活、安全管理について学び、子どもとかかわれるようにする。 ・絵本作りや読み聞かせを通して、子どもの遊びの意義や課題について考える。 ・子育てにかかわる社会的課題について知り、どのようなサポートが必要とされているのか考える。	10	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	7	1学期中間考査		1	筆記問題		
			第4章 高齢者とかかわる 1節 高齢社会に生きる 2節 高齢者を知る 3節 高齢者の自立を支える 4節 高齢社会を支えるしくみ	・高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえる。 ・高齢者の生活場面を体験する。 ・高齢期の生活を健康に過ごすための心がけについて考える。 ・介護をめぐる課題の解決にはどのようなことが必要か考える。	6	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート

2 学期 (後期)	8	ホームプロジェクトと学校家庭 クラブ活動	・生活をあらためて見直し、解決することを検討する。 ・具体的な解決方法を探り、実際に改善する。	1		ホームプロジェクト (夏休み課題)	ホームプロジェクト (夏休み課題)
		第5章 社会とかかわる 1 節 支えあって生きる 2 節 共生社会を生きる	・社会保障制度のしくみを踏まえて将来に向けての課題を考える。 ・暮らしの中の支えあいについて考える。	2	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		第6章 食生活をつくる 1 節 日本の食文化の形成 2 節 私たちの食生活 3 節 栄養と食品のかかわり 4 節 食品の選び方と安全 5 節 食事の計画と調理 6 節 これからの食生活を考える	・日本の食文化形成を知り、郷土料理について調べる。 ・食事調査を通して、各自の食生活の問題点に気づく。 ・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 ・食品衛生（食品の選択、食中毒、食品添加物）について学ぶ。 ・調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。 ・環境に配慮した食生活（食品ロス等）について考える。	14	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート 調理実習レポート	観察 振り返りシート 調理実習レポート
		1 学期期末考査		1	筆記問題		
	11	第7章 衣生活をつくる 1 節 人と衣服のかかわり 2 節 衣服の素材の種類と特徴 3 節 衣服の選択から管理まで 4 節 持続可能な衣生活をつくる 5 節 衣服の構造・デザイン	・衣服が持つ機能や安全性などについて学ぶ。 ・快適な衣服の特徴や機能について考える。 ・衣服の入手から処分までの流れを学び、衣生活の計画を考える。 ・環境に配慮した衣生活について世界の動向を学び、自分たちができることを考える。 ・衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。	12	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート 被服実習制作物	観察 振り返りシート 被服実習制作物
		2 学期中間考査		1	筆記問題		
	12	第8章 住生活をつくる 1 節 人間と住まい 2 節 住まいの文化 3 節 住まいを計画する 4 節 健康に配慮した快適な室内環境 5 節 安全な住まい 6 節 持続可能な住まいづくり	・気候風土と住まいとの関係、そこでの人間の営みとの関係を考える。 ・和風木造住宅の空間的な特性や工夫をまとめる。 ・快適な住まい方を考え、平面計画を立てる。 ・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音、冷暖房などの要素を学ぶ。 ・災害情報の入手方法、安全への備えとして必要なことを考える。 ・住まいとエネルギー、まちづくりなどの観点から、持続可能な住まいとは何かを考える。	10	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		第9章 消費行動を考える 1 節 消費行動と意思決定 2 節 消費生活の現状と課題 3 節 消費者の権利と責任 4 節 ライフスタイルと環境	・主体的な消費行動について多角的に考える。 ・契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・消費者被害の事例を調べ、消費者の権利と責任を考える。 ・持続可能な社会の実現に向けた消費行動について考える。	6	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		第10章 経済的に自立する 1 節 暮らしと経済 2 節 将来のライフプランニング	・適切な家計管理について考える。 ・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。	3	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		2 学期期末考査		1	筆記問題		
	3	まとめ・復習	・これまでの学習内容を踏まえて、これからの自身の生活をよりよくするために大切なことは何か考える。	4	ワークシート	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		備考	合計	78			

教科名	国語	科目名	国語表現	単位数	4	
対象学年	2年 F群		一般・通信	必修・選択必修	選択	
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					
学習内容の概要	A 話すこと・聞くこと ア 目的や場に応じて、効果的に話したり聞き取ったりすること。 イ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。 ウ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 B 書くこと ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。 イ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 ウ 優れた表現に接してその条件を考え、書いた文章について自己評価や相互評価を行い、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 C 読むこと ア 文章の内容や表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 ウ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、作者の意図をとらえたりすること。 エ 幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。					
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】			
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。			
教科書、教材など	○『国語表現』（大修館書店 国表701） ○授業用ワークシート					
授業形態	一斉授業 レポート提出					
年間授業計画						
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	時間	評価	
					【知】 【思】 【態】	
1	4	【第Ⅰ部】表現力を培う				
		1 言葉と出会う +実践トレーニング①	・表記・表現の基本を学ぶことで、決まりを意識し、適切に書くことを理解する。。 ・1をもとに原稿用紙の使い方を理解する。	3	WS WS (1, 1, 1)	レポート
	5	2 伝える、伝え合う	・自己紹介のやり取りから相互理解を図り、積極的にコミュニケーションに取り組む。 ・図や写真を見て相手に伝わる文章を書くために5W1Hを明確することが必要なことを理解する。	3	WS WS (1, 1, 1)	レポート
	6	3 小論文・レポート入門	・小論文の基本的な書き方を理解し、いろいろな体裁に対応して書く。 ・レポートの書き方を理解する。	3	WS WS (1, 1, 1)	レポート

2	7	【1学期中間考査】	1	考査	考査	
		4 自己PRと面接 +実践トレーニング②	3	WS	WS (1, 1, 1)	レポート
	8					
	9	5 メディアを駆使する	3	WS	WS (1, 1, 1)	レポート
		6 会議・議論・発表	3	WS	WS (1, 1, 1)	レポート
		【1学期期末考査】	1	考査	考査	
		読書のひろば	1		(0, 0, 1)	観察
	10	【第Ⅱ部】表現を楽しむ				
		1 言葉で遊ぶ	9	WS	WS (3, 3, 3)	レポート 観察
		2 無人島で生き残れ				
		3 日常生活の正しい過ごし方				
11	4 魅力的なポスターを作ろう					
	5 「わがまち自慢」のパンフレットづくり					
	6 働く人にインタビュー					
12	7 たほいやゲームをしよう					
	【2学期中間考査】	1	考査	考査		
	8 みんなで作ろう国語辞典	8	WS	WS (3, 2, 3)	レポート 観察	
	9 「私の虫類図譜」を作ろう					
	10 エッセイを書こう					
1	11 演説合戦にチャレンジ					
2	12 こちら悩みごと相談室					
	13 開廷！模擬裁判					
3	【2学期期末考査】	1	考査	考査		
				(12, 11, 13)		
備考			合計	39	評価欄記入のWSはワークシート	

教科名	国語	科目名	文学国語	単位数	4
対象学年	2年 B群		一般・通信	必修・選択必修	選択
科目の目標	近代以降のさまざまな文学作品を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し他者と意見交換することによって人生を豊かにする態度を育てる。				
学習内容の概要	A 話すこと・聞くこと ア 目的や場に応じて、効果的に話したり聞き取ったりすること。 イ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。 ウ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 B 書くこと ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。 イ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 ウ 優れた表現に接してその条件を考え、書いた文章について自己評価や相互評価を行い、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 C 読むこと ア 文章の内容や表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 ウ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、作者の意図をとらえたりすること。 エ 幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。		
教科書、教材など	○『高等学校 標準文学国語』（第一学習社） ○授業用ワークシート				
授業形態	一斉授業				

年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	現代の小説(一) 調律師のみ子さん デューク	・登場人物の関係から、主人公の心理の変化を読み取る。	1 2	小テスト	(2, 6, 4)	WS レポート
	5	現代の詩 生命は そこにひとつの席が 食事	・詩の構成や展開、比喩に注目して作者の意図を読み取る。	1 0	WS	WS (2, 4, 4)	レポート 観察
		現代の小説(二) 相棒 ナイン	・登場人物の心情と行動から人間関係を読み取る。	1 2	小テスト	WS (2, 6, 4)	レポート
	6	随想<芸術> 花のいざない 真珠の耳飾りの少女 【1学期中間考査】	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をもとに、人間、社会、自然などに対する感覚を養う。	9 1	WS 考査	WS (2, 5, 2) 考査	
	7	近代の小説(一) 鼻 こころ	・内容、構成、展開や場面設定を捉え、解釈し、その多様性を考察する姿勢を養う。	1 2	小テスト	(4, 8, 0)	レポート
	8	戦争と文学(一) バグダッドの靴磨き わたしが一番きれいだったとき 死んだ男の残したものは 春—イラクの少女シャミラに	・構成の意図を考察し、主題を理解する。	1 2	小テスト	WS (2, 6, 4)	観察
	9	現代の小説(三) 旅する本 富嶽百景 【1学期期末考査】	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を学ぶ。	1 0 1	WS 考査	WS (2, 6, 2) 考査	レポート
	2	近代の小説(二) 山月記 清兵衛と瓢箪	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を学ぶ。	1 2	WS	WS (2, 6, 4)	レポート
	10	近代の詩 こころ 汚れっちまった悲しみに…	・詩中の表現に注意しながら味わい、作者の思いに触れる。	8	WS	WS (3, 3, 2)	レポート 観察
	11	永訣の朝 現代の小説四 卒業 ひよこの眼	・主人公の、人とかかわりの中で変化する心情を把握する。	1 2	WS	WS (2, 6, 4)	レポート
		戦争と文学(二) 血であがなったもの 夏の花 【2学期中間考査】	・構成の意図を考察し、主題を理解する。	1 2 1	小テスト 考査	WS (2, 6, 4) 考査	観察
	12						
	1	創作をする 物語を創造する	・文体、表現技法に注意しながら自らの感じ方、思い、考え方を表現する方法を学ぶとともに、言語文化の特質の理解を深める。	2 4		WS (6, 10, 8)	観察 レポート
	2	〈物語を発現する力〉 テーマを決めて短歌・俳句を作る 古典をもとにして物語を作る					
	3	【2学期期末考査】	まとめ・復習	1 8	考査	考査 (0, 0, 8) (31, 72, 50)	レポート
備考			合計	156	評価欄中表記について WS：ワークシート レポート：パフォーマンス課題を含む		

教科名	国語	科目名	古典探究	単位数	3
対象学年	2年G群	一般・通信	必履修・選択必履修・選択		
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。				
学習内容の概要	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを拡げたり深めたりすることができるようになる。 (3) 言葉が持つ価値への認識を深めると共に、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けているとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	思考・判断・表現【思】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを拡げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度【態】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。		
教科書、教材など	○『高等学校 標準古典探究』（第一学習社） ○ワークシート ○適宜資料プリント ○古語辞典				
授業形態	一斉授業				

年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	説話(一) 古文説話集 十訓抄	・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確にとらえる。	5	小テスト	(0, 5, 0)	WS
	5	古今著聞集 ◇故事・寓話	・漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。	5	WS	WS (1, 2, 2)	観察
		随筆(一)	・作者の視点に気づき、構成や展開、内容を理解する。	7	小テスト	WS (0, 5, 2)	観察
	6	徒然草 方丈記 ◇三国志の世界	・史伝に触れ、構成や展開、内容を捉える。	7	WS	WS (3, 4, 0)	
	7	【1学期中間考査】 物語(一) 伊勢物語 竹取物語	・物語のスタイルに注意しながら、構成や展開、内容を捉える。	1 7	考査 小テスト	考査 WS (2, 5, 0)	
	8	◇漢詩の鑑賞 中国の詩 日本の詩 説話(二)	・表現・技法への理解を深め、古代中国人の思想を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	6 5	小テスト 小テスト	WS WS (2, 3, 1)	WS・観察 WS・観察
	9	沙石集 宇治拾遺物語 ◇不思議な世界	・古代中国人の想像力に触れる。	5	WS	WS (2, 2, 1)	観察
		随筆(二) 枕草子	・作者がの視点を通して、当時のものの見方や考え方に触れる。	5	小テスト	WS (0, 4, 1)	観察
		◇逸話	・作品の成立背景を理解する。	4	WS	WS (2, 2, 1)	観察
		【1学期期末考査】		1	考査	考査 (1, 2, 1)	
	2	10 和歌・俳諧 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 春夏秋冬	・我が国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、鑑賞する。	8	WS	WS (2, 4, 2)	WS・観察
		11 ◇項羽と劉邦	・登場人物の心情変化を捉える。	7	WS	WS (0, 7, 0)	
		12 説話(三) 御伽草子 宇治拾遺物語	・昔話として現代まで継承される話を読み、登場人物の心情を読み取る。	5	小テスト	WS (2, 2, 1)	観察
	1	◇諸家の思想	・中国古代思想を理解する。	5	WS	WS (0, 5, 0)	
		【2学期中間考査】 物語(二) 源氏物語 大鏡	・物語のスタイルに応じて、構成や展開、内容を捉える。	1 6	考査 WS	考査 WS (2, 4, 0)	
		◇名家の文章	・作者の考えや意図を捉える。	4	WS	WS (1, 2, 1)	観察
	2	日記 蜻蛉日記 紫式部日記 更級日記	・文章の種類や文体に注意して、構成や展開、内容を捉える	6	WS	WS (1, 5, 0)	
2		物語(三) 平家物語	・軍記物語を読み、登場人物の言動の背景にある思想を理解し、考えを深める。	6	WS	WS (2, 4, 0)	
		評論 無名草子 無名抄	・評論という文章の種類に注意して、構成や内容を捉える。	4	WS	WS (1, 2, 1)	観察
	3	玉勝間 【2学期期末考査】		1 6	考査	考査	
			まとめ・復習			(24, 69, 14)	
備考		◇は漢文分野 評価欄中「WS」はワークシート	合計	117			

教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	単位数	4
対象学年	2年 B群	一般・通信	必修・選択必修・選択		
科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				
学習内容の概要	A・歴史の扉 B・近代化と私たち C・国際秩序の変化や大衆化と私たち D・グローバル化と私たち				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	思考・判断・表現【思】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度【態】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。		
教科書、教材など	『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』（山川出版社）・授業プリント				

授 業 形 態	一斉授業
---------	------

期	月	単 元	学 習 内 容 (ねらい)	時 間	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	世界のつながり 歴史の扉	中学校の歴史学習の復習 身近な事柄が歴史と結びつきを持っていることを理解する。歴史資料の読み取り方を身につける。	10	定期考査 復習 プリント	ワーク シート	観察 ワーク シート
	5	第Ⅰ部 近代化と私たち ①結びつく世界と 日本の開国	日本を含めた様々な国や地域の動向の比較や関連付けを行うことにより、工業化・交通手段などなどの進展、世界市場の形成について学び、アジア諸国の社会と経済の仕組みや欧米諸国との関係の変容について理解を深める。	16	定期考査 復習 プリント	ワーク シート	観察 ワーク シート
	6	②国民国家と 明治維新 【定期考査】		17			
	7	第Ⅱ部 国際秩序の変化や 大衆化と私たち		1			
	8	【定期考査】	20世紀の政治・社会・国際関係・大衆の変化等について、資料を活用して情報を読み取り活用する技能を習得し大衆化による社会や生活の変化について考察するための問いを表現する。また、これらのできごとにおける課題について、資料を活用して考察し、それらが現代的な諸課題の形成にどのようなにかかわっているかを理解する。	10	定期考査 復習 プリント	ワーク シート	観察 ワーク シート
	9	①総力戦と社会運動		8			
	10	②経済危機と第二次 世界大戦		1			
	11	第Ⅲ部 グローバル化と 私たち	グローバル化する世界の在り方について、資料を活用して、情報を読み取りまとめる技能を習得し、人々の生活や社会がグローバル化に伴い変化したことについて考察するための問いを表現する。	14	定期考査 復習 プリント	ワーク シート	観察 ワーク シート
	12	①冷戦と世界経済 【定期考査】		1			
	1	②世界秩序の変容と 日本		10			
	2	【定期考査】 現代的な諸課題の 形成と展望	歴史的な見方や考え方を生かして、現代的な諸課題を考察する方法を理解する。また、現代的課題について歴史的な問いを立て、これまでの学習をもとに考察し、表現できるようにする。	12			
	3	テーマ学習		1	復習 プリント	ワーク シート 発表	観察 発表
	3	テーマ学習		8		レポート	レポート
備考			合計	156			

教科名	公民	科目名	公共	単位数	3
対象学年	2年 C群	一般・通信	必修・選択必修・選択		
科目の目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。				
学習内容の概要	A・公共の扉 B・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち C・持続可能な社会づくりの主体となる私たち				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	思考・判断・表現【思】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	主体的に学習に取り組む態度【態】 よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
教科書、教材など	『公共』（実教出版）・授業プリント				
授業形態	一斉授業				

期	月	単元	学習内容（ねらい）	時間	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	1・公共の扉 （倫理分野）	青年期や先人の思想、民主的な社会の在り方についての学習や話し合いなどの活動を通じて「公共」の授業において必要な基本的概念を身につける。	8	定期考査 復習 プリント	発表 ワーク シート	観察 発表
	5	①社会をつくる私たち		12			
	6	②人間としてよく生きる		12			
	6	③他者とともに生きる		1			
	7	④民主社会の倫理 【定期考査】 （政治分野）	民主主義・法の支配など、民主政治の基本 原理について理解する。 -	10	定期考査 復習 プリント	ワーク シート	観察
	8	⑤民主国家における 基本原理		3			
	8	2・よりよい社会の 形成に参加する 私たち 【現代の民主政治と 日本国憲法】		1			
	9	①日本国憲法の基本的 性格 【定期考査】	憲法の下、権利や自由が保障され、社会秩序が形成・維持されていることを理解する。平和主義・基本的人権について基本的な事項を理解する。	9	ワーク シート 発表	観察 発表	
	9	②日本の政治機構と政治 参加		12			
	10	（経済分野） 【現代の経済社会と 国民生活】		12			
2	10	①現代の経済社会 【定期考査】	経済分野の基本的事項について学習し 時事的な課題についても、理解を深める。	12	定期考査 復習 プリント	ワーク シート 発表	観察 発表
	11	②日本経済の特質と 国民生活		12			
	12	（国際分野） 【国際社会と人類の 課題】	前項で学習した内容をもとに、よりよい社会をつくるために解決すべき課題について考察を深め、表現する。	10	定期考査 復習 プリント	ワーク シート 発表	観察
	1	①国際政治の動向と課題 【定期考査】		10			
	2	②国際経済の動向と課題		11			
	3	3・持続可能な社会 づくりの主体と なる私たち	これまで学習した内容をもとに、社会の中で解決すべき課題について、各自が探究活動を行う。	6	レポート	ワーク シート	
	3	テーマ学習		6			
備考			合計	117			

教 科 名	公民	科目名	倫理	単位数	2
対象学年	2 年 H 群	一般・通信	必履修・選択必履修・選択		
科目の目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。 (3) 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。				
学習内容の概要	1 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 (1) 人間としての在り方生き方の自覚 (2) 国際社会に生きる日本人としての自覚 2 現代の諸課題と倫理 (1) 自然や科学技術に関わる諸課題と倫理 (2) 社会と文化に関わる諸課題と倫理				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりしている	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題に関連して、学習上の課題を意欲的に追究しようとしたり、他者と共によりよく生きる自己の形成に向けて、多面的・多角的に考察しようとしたりしている。		
教科書、教材など	『高等学校 倫理』(第一学習者), 授業プリント				
授 業 形 態	一斉授業				

年 間 授 業 計 画								
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	曜日	評 価			
					【知】	【思】	【態】	
1	4	○第1編	第1編【第1章】・青年期の課題を踏まえ、	6	小テスト 定期考査	ワークシ ート	振り返り シート 観察	
		第1章 人間の心と自己形成	人格、感情、認知、発達についての心理学の考えをもとに、様々な人間の心のあり方を理解する。					
		1 青年期の課題と自己形成	【第2章】・古代ギリシアの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、儒教などの中国思想をもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。	8	小テスト 定期考査	ワークシ ート	振り返り シート 観察	
		第2章 人間の存在や価値と宗教						
	5	1 ギリシアの思想	【第3章】・人間の尊厳に関する思想について、代表的な先哲の思想を通して理解する。・人間は自然をどのように捉えてきたかを理解する。・社会契約の思想、	6				
		2 ユダヤ教とキリスト教						
	6	3 イスラーム	人格の尊厳に関する思想、人倫の思想、功利主義の思想、社会の発展に関する思想、公共性に関する思想、プラグマティズムなどについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。	1				
		4 仏教						
	7	中間考査	【第4章】・現象学、言語哲学、構造主義などについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。・社会参加と奉仕の意義を理解し、社会参加の中にも生きがいがあることを理解する。	6	小テスト 定期考査	ワークシ ート	振り返り シート 観察	
		5 中国の思想						
	8	6 宗教や芸術	【第5章】・日本人の人間観、自然観、宗教観などと、古来の日本人の心情と考え方、外来思想の受容、国学や江戸時代の庶民の思想、西洋思想の受容との関係を理解する。	2				
		第3章 人間のあり方と社会						
	9	1 人間の尊厳	第2編【第1章】・生命、地球環境、科学技術との関わりにおいて、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。	7				
		2 科学革命の時代と自然観						
	10	3 自由で平等な社会の実現	【第2章】・福祉、文化と宗教、国際平和について倫理的課題を見だし、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の初回を探究する。	1				
		4 人間性の回復と主体性の確立						
	2	10	第4章 現代の人間と社会をとらえる思想	【第5章】・日本人の人間観、自然観、宗教観などと、古来の日本人の心情と考え方、外来思想の受容、国学や江戸時代の庶民の思想、西洋思想の受容との関係を理解する。	8	小テスト 定期考査	ワークシ ート	振り返り シート 観察
			1 現代の思想と人間像					
		11	2 生命への畏敬と社会参加	第2編【第1章】・生命、地球環境、科学技術との関わりにおいて、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。	7	小テスト 定期考査	ワークシ ート	振り返り シート 観察
第5章 国際社会に生きる日本人として自覚								
12		1 日本固有の思想	【第2章】・福祉、文化と宗教、国際平和について倫理的課題を見だし、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の初回を探究する。	6	小テスト 定期考査	ワークシ ート	振り返り シート 観察	
		2 外来思想						
1		中間考査		1				
		3 町人思想のめざめと庶民思想						
2		4 西洋思想との出会い		7	小テスト 定期考査	ワークシ ート	振り返り シート 観察	
		○第2編						
3	第1章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理		4	小テスト 定期考査	ワークシ ート	振り返り シート 観察		
	第2章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理							
備考	3	期末考査		4			振り返り レポート	
		テーマ学習						
合計				78				

教 科 名	数学	科目名	数学Ⅱ	単位数	4
対象学年	2 年 A 群	一般 通信	必履修・選択必履修	選択	
科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数、微分と積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
学習内容の概要	(1) 方程式・式と証明 式の計算、複素数と方程式、式と証明 (2) 図形と方程式 点と直線、円、軌跡と方程式 (3) 三角関数 三角関数、加法定理 (4) 指数関数・対数関数 指数関数、対数関数 (5) 微分法と積分法 微分係数と導関数、微分法の応用、積分法				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
教科書、教材など	『新編数学Ⅱ』（実教出版）				
授 業 形 態	一斉授業				

年 間 授 業 計 画							
学 期	月	単 元	学 習 内 容 (ね ら い)	曜 日	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	1章 方程式・式と証明 1節 式の計算 1. 整式の乗法 2. 二項定理 3. 整式の除法 4. 分数式	・3次式の計算, 二項定理, 整式の除法, 分数式の四則について, 理解を深める。	10	小テスト	小テスト	観察 小テスト
	5	2節 複素数と方程式 1. 複素数 2. 2次方程式 3. 因数定理 4. 高次方程式	・方程式の解を発展的にとらえ, 数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解させる。また, 複素数の計算に習熟させる。 ・二次方程式の解と係数の関係を理解させ, 2次式を複素数の範囲で因数分解できるようにする。 ・剰余の定理・因数定理を理解させ, 高次方程式の解法に利用できるようにする。	16	小テスト	小テスト	小テスト
	6	3節 式と証明 1. 等式の証明 2. 不等式の証明	・代数的な教材を基にして論証について理解を深める。 ・等式や不等式を証明することの意味や方法についての理解させ, 数学的な考え方や論理的思考力を養う。	12	中間考査	中間考査	
	7	2章 図形と方程式 1節 点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係	・点や直線の基本的な性質や関係を座標や式を用いて, 解析幾何的に考察し処理するとともに, その有用性を認識させる。	18			
	8	2節 円 1. 円の方程式 2. 円と直線	・座標や式を用いて, 円の基本的な性質を解析幾何的に考察し処理することのよさや有用性を認識させ, 軌跡の考察などに活用できるようにする。	9	小テスト	小テスト	小テスト
	9	3節 軌跡と領域 1. 軌跡と方程式 2. 不等式の表す領域 3. 連立不等式の表す領域	・等式や不等式を満たす値を座標とする点の集合と平面図形の関係について理解を深める。 不等式で表される条件を座標平面上に図示し, 図形的に考察できるようにする。	11	期末考査	期末考査	
	10	3章 三角関数 1節 三角関数 1. 一般角 2. 弧度法 3. 三角関数 4. 三角関数の性質 5. 三角関数のグラフ 6. 三角関数と方程式・不等式	・三角関数について理解し, 関数についての理解を深め, それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。	14			
	11	2節 加法定理 1. 加法定理 2. 加法定理の応用	・加法定理について理解させ, 三角関数に関する方程式や最大, 最小について理解を深める。	10	小テスト	小テスト	小テスト
	12	4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数	・指数を正の整数から有理数まで拡張し, それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。	10	中間考査	中間考査	
	1	2節 対数関数 1. 対数とその性質 2. 対数関数	・指数と対数の関係を理解させ, 対数の性質やグラフが具体的な事象の考察に活用できることを理解させる。	12	小テスト	小テスト	小テスト
2	1	5章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数 1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数 3. 接線の方程式	・具体的な事象の考察を通して, 微分係数や導関数, 接線などの微分の考えを理解させる。	10	小テスト	小テスト	小テスト
	2	2節 微分法の応用 1. 関数の増減と極大・極小 2. 方程式・不等式への応用	・導関数の応用として, 関数の増加, 減少, 極値を調べ, そのグラフの概形を描くことや接線について理解させる。	10			
	3	3節 積分法 1. 不定積分 2. 定積分 3. 定積分と面積	・微分の逆演算として不定積分を捉え, 関数の和, 差, 定数倍の不定積分や定積分の計算ができるようにする。 ・定積分と曲線で囲まれた面積の関係を導関数の定義を用いて考察し, 直線や放物線で囲まれた図形の面積を求めることができるようにする。	13	期末考査	期末考査	
		課題学習	1) 相加平均・相乗平均・調和平均 2) 紙バックの容積 3) 整数計画法 4) うなり				
		備考	合計	156			

教 科 名	数学	科目名	数学A	単位数	2
対象学年	2 年 H群	一般・通信	必履修・選択必履修	選択	
科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 場合の数と確率，図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見だし，論理的に考察する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見だし，数理的に考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
学習内容の概要	(1) 場合の数と確率 場合の数，確率 (2) 図形の性質 三角形の性質，円の性質，作図，空間図形				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	数学Aにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見だし，論理的に考察する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見だし，数理的に考察する力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。		

教科書、教材など		『高校数学A』（実教出版）					
授 業 形 態		一斉授業					
年 間 授 業 計 画							
学 期	月	単 元	学 習 内 容（ねらい）	時 間	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	1章 場合の数と確率	・集合の要素に関する基本的な関係や和の法則 ・積の法則について理解するとともに、具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求められるようにする。	18	小テスト	小テスト	観 察 小テスト
		1節 場合の数					
	5	1. 集合と要素			小テスト		
		2. 集合の要素の個数					
		3. 場合の数					
	6	4. 順列	中間考査	中間考査			
		5. 組合せ					
	7	2節 確率	・確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いていろいろな事象の確率を求められるようにする。	18	小テスト	小テスト	小テスト
		1. 事象と確率					
	8	2. いろいろな事象の確率			小テスト	小テスト	小テスト
	3. 独立な試行とその確率						
9	4. 反復試行とその確率	期末考査			期末考査		
	5. 条件つき確率						
	6. 期待値						
2	10	2章 図形の性質	・三角形の角の2等分線と線分の比の関係や、三角形の外心・内心・重心について理解し、それらの性質を用いて線分の長さや角の大きさを求められるようにする。	14	小テスト	小テスト	小テスト
		1節 三角形の性質					
	11	1. 三角形の角			小テスト	小テスト	小テスト
		2. 三角形と線分の比	・円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件、円の接線と接点を通る弦のなす角の性質、方べきの定理および2つの円の位置関係について理解し、それらを図形の性質の考察に活用できるようにする。	12	小テスト	小テスト	小テスト
		3. 三角形の外心・内心・重心			中間考査	中間考査	
	12	2節 円の性質			小テスト	小テスト	小テスト
		1. 円周角					
		2. 円と四角形					
	1	3. 円の接線		9	小テスト	小テスト	小テスト
		4. 方べきの定理			期末考査	期末考査	
	5. 2つの円						
	2	3節 作図	・垂直2等分線、垂線、角の2等分線、平行線、3等分する点 が作図できるようにする。 ・三角形の外心・内心・重心が作図できるようにする。	7	小テスト	小テスト	小テスト
	1. 基本の作図						
	2. いろいろな作図						
		3. 三角形の外心・内心・重心の作図	・空間における直線や平面の位置関係やつくる角についての理解を深められるようにする。 ・多面体に関する基本的な性質を理解する。		期末考査	期末考査	
3	4節 空間図形						
		1. 空間における直線と平面					
		2. 多面体					
備考				合計	117		

教 科 名	数学	科目名	数学B	単位数	2
対象学年	2 年 D群	一般・通信	必履修・選択必履修	選択	
科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
学習内容の概要	(1) 数列 数列とその和、いろいろな数列、漸化式と数学的帰納法 (2) 統計的な推測 確率変数と確率分布、正規分布、統計的な推測				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	数学Bにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。		
教科書、教材など	『高校数学B』（実教出版）				
授 業 形 態	一斉授業				

年 間 授 業 計 画								
学期	月	単 元	学習内容（ねらい）	時間	評 価			
					【知】	【思】	【態】	
1	4	1章 数列	・数列, 等差数列, 等比数列について理解し, その一般項を求めることを学ぶ。 ・等差数列や等比数列について, その和の求め方を学ぶ。	15	小テスト	小テスト	観察 小テスト	
	5	1節 数列とその和 1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等比数列			小テスト			
	6	2節 いろいろな数列 1. 和を表す記号 2. 階差数列			中間考査	中間考査		
	7		・ Σ 記号の使い方や表し方について学び, Σ の性質を用いて自然数の和や自然数の2乗の和, いろいろな数列の和を求められるようにする。 ・階差数列について理解し, 階差数列を用いて数列の一般項を求める方法を学ぶ。	13	小テスト	小テスト	小テスト	
	8							
	9	3節 漸化式と数学的帰納法 1. 漸化式 2. 数学的帰納法			小テスト	小テスト	小テスト	
	10	2章 統計的な推測	・確率変数とその分布について理解し, それらを不特定な事象の考察に活用できるようにする。	14	期末考査	期末考査		
	11	1節 確率変数と確率分布 1. 確率とその基本性質 2. 確率変数と確率分布 3. 二項分布			小テスト	小テスト	小テスト	
	12	2節 正規分布 1. 確率密度関数 2. 正規分布 3. 二項分布と正規分布			中間考査	中間考査		
	2	1		・推測統計の基本を学び, 標本から母集団の性質を考察できるようにする。	14	小テスト	小テスト	小テスト
2		3節 統計的な推測 1. 母集団と標本 2. 標本平均の分布 3. 母平均の推定 4. 仮説検定	期末考査			期末考査		
3								
備考				合計	78			

教 科 名	理科	科目名	物理基礎	単位数	4
対象学年	2 年 A 群	一般・通信	必履修 選択必履修・選択		
科目の目標	物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
学習内容の概要	(1) 物体の運動とエネルギー (2) 様々な物理現象とエネルギーの利用				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身についている。	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行う中で、観察、実験などを通して探究する力を身につけており、その結果を用いて考察し、表現できる。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的にかかわり、科学的に探求しようとしている。		
教科書、教材など	『物理基礎』（実教出版），授業プリント，感想・質問用紙				
授 業 形 態	一斉授業				

年 間 授 業 計 画							
学期	月	単 元	学習内容（ねらい）	曜	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	序章 物理量の測定と扱い方	測定結果の誤差，有効数字について正しく扱えるようになる。	2		小テスト	出席シート、授業態度
	5	第1章 物体の運動 1節 運動の表し方	等速直線運動や等加速度直線運動などの基本的な運動の様子について計算し、説明できる。	25	小テスト、実験観察	小テスト、実験用紙	出席シート、授業態度

2	6	2節 力と運動の法則 力とは	身近な現象ではたらいている力について理解する。	4	小テスト、実験観察	小テスト、実験用紙	出席シート、授業態度
		—中間考查—		1	考查	考查	
	7	2節 力と運動の法則	力が運動に及ぼす影響について理解し、観察・実験で得られた結果を説明できる。	28	小テスト、実験観察	小テスト、実験用紙	出席シート、授業態度
	8						
		第2章 エネルギー 1節 運動とエネルギー	仕事と力学的エネルギーやこれらの関係性について理解し、観察実験で得られた結果を説明できる。	18	小テスト、実験観察	小テスト、実験用紙	出席シート、授業態度
	9						
		—期末考查—		1	考查	考查	
	10	第2章 エネルギー 2節 熱	物体のもつ熱の大きさや温度の示し方などについて理解し、観察実験で得られた結果を説明できる。	10	小テスト、実験観察	小テスト、実験観察	出席シート、授業態度
2	11	第3章 波	波の伝わり方や性質について理解し、観察実験で得られた結果を説明できる。	28	小テスト、実験観察	小テスト、実験観察	出席シート、授業態度
		—中間考查—		1	考查	考查	
	12	第4章 電気	電流の流れ方や電流による発熱、磁場と電流の関係などについて理解し、観察実験で得られた結果を説明できる。	17	小テスト、実験観察	小テスト、実験観察	出席シート、授業態度
	1	第5章 物理と社会	エネルギー保存の法則や核反応について理解し、日常生活の中でのエネルギーに関する課題について考察する。	10	小テスト、実験観察	小テスト、実験観察	出席シート、授業態度
	2	—期末考查—		1	考查	考查	
	3	終章 物理学が拓く世界	本科目におけるまとめとして、身近な科学技術に応用されている物理学について触れ、化学的視点の育成を図る。	8			
備考		このほか、夏季休業期間に生徒自身で課題を設定し、自身での実験や論文等の引用によって課題解決を目指すパフォーマンス課題を出題する。		合計	156		

教 科 名	理科	科目名	化学基礎	単位数	3
対象学年	2 年 C 群	一般・通信	必履修 選択必履修	選択	
科目の目標	物質とその変化に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 (3) 物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。				
学習内容の概要	(1) 化学と人間生活 (2) 物質の構成 (3) 物質の変化とその利用				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化に関する観察，実験などを行う中で，観察，実験などを通して探究する力を身につけており，その結果を用いて考察し，表現できる。	物質とその変化に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。		
教科書、教材など	『新編 化学基礎』（数研出版）、授業プリント				
授 業 形 態	一斉授業				

年 間 授 業 計 画							
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	時間	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	序章 化学の特徴		1			出席シート、 授業態度
		第1編 物質の構成と 化学反応					
		第1章 物質の構成	世の中に存在する物質を分類する 上での考え方や物質の分離方法につ いて理解するとともに、与えられた 物質を分類する方法として適するも のが何か考える。	19	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験用紙	出席シート、 授業態度、 実験用紙
	5						
		第2章 物質の構成	原子の構造や同位体、価電子、イ オンについて理解するとともに、周	19	小テスト	小テスト	出席シート、 授業態度
	6	粒子					

7	—中間考查—	期表をもとに原子の電氣的性質について考察できる。	1	考查	考查	
8	第3章 粒子の結合	イオン結合や共有結合、金属結合といった化学的な結合や化学的な結合によってできる粒子の特徴について理解するとともに、与えられた物質どうしがどのように結合するか考察する。	17	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度
9	—期末考查—		1	考查	考查	
10	第2編 物質の変化 第1章 物質と 化学反応式	化学反応が起こる際の粒子の変化について理解するとともに、物質の変化について化学反応式や物質質量を用いて表現することができる。	16	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験用紙	出席シート、 授業態度
11	第2章 酸と塩基の 反応	酸・塩基の性質について理解するとともに、実験によって得られた結果から溶液のpHや溶液中のイオン濃度の変化に関する考察を行う。	16	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験用紙	出席シート、 授業態度
12	—中間考查—		1	考查	考查	
1	第3章 酸化還元 反応	物質の酸化還元反応やイオン化傾向について理解するとともに、電池や金属の製錬などの我々の生活に関与する酸化還元反応の活用について触れることで日常生活での科学的視点の育成を図る。	15	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験用紙	出席シート、 授業態度
2	—期末考查—		1	考查	考查	
3	まとめ・復習	1年間の学習を振り返る。また、学んだことをもとに身近な現象について考察するなど主体的に探求する力を身につける。	10			
備考	このほか、夏季休業期間に生徒自身で課題を設定し、自身での実験や論文等の引用によって課題解決を目指すパフォーマンス課題を出題する。		合計	117		

教科名	理科	科目名	生物基礎	単位数	2
対象学年	2年 D群	一般・通信	必修・選択必修・選択		
科目の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				
学習内容の概要	(1) 生物の特徴 (2) ヒトの体の調節 (3) 生物の多様性と生態系				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解しており、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	思考・判断・表現【思】 生物や生物現象について、観察、実験などを通して探究する力を身につけており、その結果を用いて考察、表現できる。	主体的に学習に取り組む態度【態】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしているとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。		
教科書、教材など	『新編 生物基礎』（数研出版）、授業プリント、レポート				
授業形態	一斉授業				

年 間 授 業 計 画							
学期	月	単 元	学 習 内 容（ねらい）	時 間	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	巻頭特集・序章	本科目での学習の目的を示して科学的探究心を育成するとともに、顕微鏡の操作方法について確認する。	1	小テスト		出席シート、授業態度
	5	第 1 章 生物の特徴	生物どうしの共通性や多様性、細胞のすがたやその機能、代謝について理解し、説明する。	12	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度
		第 2 章 遺伝子とそのはたらき					
	6	第 1 節 遺伝情報と DNA	DNAの構造について理解し、生物の多様性と塩基配列の多様性との関係について考察する。	4	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度
		—中間考査—		1	○	○	

		第2節 遺伝情報の複製と分配 第3節 遺伝情報の発現	生物のDNAのふえ方や遺伝情報の発現について理解するとともに、これらの現象の意義について考察し、説明する。	11	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度
7	第3章 ヒトの体内環境の維持						
8	第1節 体内での情報伝達と調節	神経系や内分泌系を介した体内での情報伝達について理解し、身体内の変化に対してどのような調節経路がはたらくか考察して説明できる。	6	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度	
9	—期末考査—		1	考査	考査		
	第2節 体内環境の維持の仕組み	体内環境の恒常性について理解するとともに、血糖濃度の調節、血液凝固の様子を説明できる。	3	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度	
10	第3章 ヒトの体内環境の維持 第3節 免疫のはたらき	免疫機能の概要、免疫機能の低下時や免疫機能の過剰反応時にどのような影響がヒトのからだに発生するのか理解するとともに、身体内に異物が侵入したときにどのように免疫反応がはたらくのか説明できる。	10	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度	
	第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移	植生の種類やその変化の様子について理解し、説明する。	4	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度	
11	—中間考査—		1	考査	考査		
12	第2節 植生の分布とバイオーム 第3節 生態系と生物の多様性 第4節 生態系のバランスと保全	バイオームの分布、生態系とその内部の相互関係について理解するとともに、人間の活動によって生態系や環境へどのような影響を及ぼすか考え、環境や生態系の保全に向けてどのような働きかけが必要か考察する。	18	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度	
1							
2	—期末考査—		1	考査	考査		
	まとめ・復習		5				
3							
備考	このほか、夏季休業期間に生徒自身で課題を設定し、自身での実験や論文等の引用によって課題解決を目指すパフォーマンス課題を出題する。			合計	78		

教科名	理科	科目名	地学基礎	単位数	4
対象学年	2年 E群	一般・通信	必修・選択必修	選択	
科目の目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				
学習内容の概要	(1) 地球のすがた (2) 変動する地球				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うことができるとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現できる。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。		
教科書、教材など	『高等学校 地学基礎』（第一学習社）、授業プリント、レポート				
授業形態	一斉授業				

年 間 授 業 計 画							
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	時間	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	第1章 地球のすがた 第1節 地球の外観	測定結果から地球のかたちや大きさ、構造に関する考察を行い、理解を深める。	3	レポート	レポート	授業態度
	5	第2節 プレーートの運動	プレートの分布と地表で発生する自然現象の分布を比較して考察し、プレートテクトニクスについて理解する。	3	レポート	レポート	授業態度
		第2章 地球の活動 第1節 地震	地震に関する測定結果や地震によって生じた影響の事例を観察し、地震に関する理解を深める。	2	レポート	レポート	授業態度
	6	—中間考査—		1	考査	考査	
		第2節 火山活動	火山活動に関する現象やその影響に	3			

7	第3章 大気と海洋 第1節 地球のエネルギー収支	ついて理解するとともに、学習した知識をもとに自身の身の回りの地形や岩石のなりたちについて説明する。 大気のすがたや構造、大気にまつわる自然現象について理解するとともに、地球内外でのエネルギーのやり取りについて説明する。	3	レポート	レポート	授業態度
8	第2節 大気と海水の運動	大気や海水の循環について理解するとともに、それらによるエネルギーの移動について考察し、説明する。	2	レポート	レポート	授業態度
9	—期末考査—		1			
9	第4章 宇宙と地球 第1節 宇宙と太陽の誕生	宇宙と太陽のすがたやその成り立ちについて理解し、説明する。	3	レポート	レポート	授業態度
10	第2節 太陽系と地球の誕生	太陽系やその周辺に存在する天体について理解し、その性質や特徴を説明する。	3	レポート	レポート	授業態度
11	第5章 生物の変遷と地球環境 第1節 地層と化石	地層のすがたとその成り立ちについて理解するとともに、地層に保存されている情報から地層が形成された際の地球の様子について考察する。	3	レポート	レポート	授業態度
	—中間考査—		1	考査	考査	
12	第2節 地球と生物の変遷	過去地球に存在した生物の化石を観察してその特徴を理解するとともに、化石の特徴を比較することで各地質時代の地球の様子を考察する。	3	レポート	レポート	授業態度
1	第6章 地球の環境 第1節 地球と科学	近年の地球上における環境問題について理解し、それらの環境問題の対策について考察し、説明する。	3	レポート	レポート	授業態度
	第2節 日本の自然環境	地球の活動に伴う日本での人間の活動に対する恩恵や災害について理解し、これらの現象の利用方法や対策の方法について考察し、説明できる。	3	レポート	レポート	授業態度
2	—期末考査— まとめ	本科目の総括を行う。	1 1	考査	考査	授業態度
備考			合計	39		

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3
対象学年	2年	一般通信	必履修・選択必履修・選択		
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	○体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 ○陸上競技 自己の能力に応じて記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ア 競走 イ 跳躍 ウ 投てき ○球技 チームの課題や自己の能力に応じて次の運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。 ア) バスケットボール イ) サッカー ウ) バレーボール エ) 卓球 オ) バドミントン カ) ソフトボール ○体育理論 運動やスポーツの合理的、計画的な実践や生涯にわたる豊かなスポーツライフを送る上で必要となるスポーツに関する科学的知識等を身につけさせる。				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。		

教科書、教材など		必要に応じて視聴覚教材					
授 業 形 態		体づくり運動・体育理論・陸上競技については一斉授業とし、球技については選択授業とする。					
年 間 授 業 計 画							
期	月	単 元	学 習 内 容（ねらい）	時 間	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1 学 期	4	体づくり運動		7	○	○	○
	5	球技	バスケットボール バレーボール	18	○	○	○
					○	○	○
	6						
	7	陸上競技	競走 跳躍 投てき	12	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
8	球技	サッカー ソフトボール	23	○ ○	○ ○	○ ○	
9							
2 学 期	10	選択球技	バスケットボール バレーボール	51	○ ○	○ ○	○ ○
	11		バドミントン 卓球		○ ○	○ ○	○ ○
	12						
	1						
	2	体育理論	スポーツの文化的特性と現代スポーツの発展 運動やスポーツの効果的な学習方法 豊かなスポーツライフの設計	6	○	○	○
	3				○	○	○
備 考			合 計	117			

教 科 名	保健体育	科目名	保健	単位数	4
対象学年	2 年 F群	一般・通信	必修・選択必修・選択		
科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	(1) 現代社会と健康 我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が適切な生活行動を選択し実践すること及び環境を改善していく努力が重要であることを理解できるようにする。 (2) 安全な社会生活 我々の生活の中にはいろいろな健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があることを理解する。 (3) 生涯を通じる健康 生涯の各段階において健康についての課題がある。また、健康で充実した労働条件を作るにはどのようにすればよいかを理解する。 (4) 健康を支える環境づくり 自然環境問題の実態を知り自分にできることを考える。また、我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することの重要性を理解できるようにする。				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	健康・安全の意義を理解するとともに心身の機能の発達や心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し知識・技能を身につけている。	自他の心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に考え、選択すべき行動を適切に判断している。	自他の心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとする。		
教科書、教材など	「高等学校 保健体育 Textbook」（第一学習社）				
授 業 形 態	・ 一斉授業 ・ 单元ごとにプリント（学習ノート）を埋めながら、教科書の中身を発展させる。 ・ 視聴覚教材を使い、学習の理解を深める。				

年 間 授 業 計 画							
期	月	単 元	学習内容 (ねらい)	時 間	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1 学 期	4	第1章 現代社会と健康	健康の考え方	9	○	○	○
	5		現代の感染症とその予防		○	○	○
			生活習慣病などの予防と回復		○	○	○
	6		喫煙、飲酒、薬物乱用と健康		○	○	○
		1学期中間考査		1	○		
	7		精神疾患の予防と回復	9	○	○	○
	8	第2章 安全な社会づくり	安全な社会づくり		○	○	○
			応急手当		○	○	○
	9	1学期末考査		1	○		
2 学 期	10	第3章 生涯を通じる健康	生涯の各段階における健康	8	○	○	○
	11		労働と健康		○	○	○
		2学期中間考査		1	○		
	12						
		第4章		9			
	1	健康を支える環境 づくり	環境・食品と健康 保健・医療制度と機関		○	○	○
					○	○	○
	2	2学期末考査		1	○		
	3						
備考			合計	39			

教 科 名	芸術	科目名	音楽Ⅰ	単数	4
対象学年	2 年 E 群	一般・通信	必修修・選択必修修・選択		
科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。				
学習内容の概要	A 表 現 (1) 歌唱 (2) 器楽 (3) 創作 B 鑑 賞 [共通事項] 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。 イ 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		
教科書、教材など	『MOUSA1』（教育芸術社）、DVD等の視聴覚教材				
授 業 形 態	一斉授業・グループ学習・個別指導				

年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
2	1	4	歌唱①	3	レポート		観察
			発声の基礎を学ぶ。 歌う姿勢・呼吸・共鳴を意識した歌唱を目指す。				
			歌唱②	2		ワークシート	観察
			歌詞及び旋律を歌唱表現に生かす。 斉唱や重唱により、歌詞と旋律や曲調との結びつきを考える。				
		5	アンサンブル①	2		レポート	観察
			リズムと拍子の特徴、楽曲を特徴づけている要素を生かして表現する。				
			音楽的諸要素を歌唱表現に生かす。				
	6	歌唱③ 鑑賞①	世界の音楽を知り、曲種に応じた発声や器楽の多様な表現を味わう。 イタリア歌曲・器楽曲に親しむ。	3	レポート		観察
			－中間考査－	1	定期考査	定期考査	
	7	歌唱④	旋律のかけ合いを味わう。 重唱や合唱により、各パートのかけ合い部分の効果的な演奏方法を学ぶ。	2		レポート	観察
			作詞に挑戦する。				
	8	創作① 器楽①	8小節の旋律に歌詞をつける。 ギターの基礎知識と演奏の基本を学ぶ。 ギターの各部位の名称、演奏する姿勢、運指、アポヤンド奏法を知る。	2 2	ワークシート レポート		観察 観察
			－期末考査－				
	9	器楽② 鑑賞② 歌唱⑤	旋律以外のパートの役割を知る。 楽曲の構成を知り、各パートの役割について考える。ヴォーカルアンサンブルを鑑賞し平易な楽曲に挑戦する。	1 2	定期考査 レポート	定期考査	観察
			ミュージカル独特の雰囲気味わう。				
	10	鑑賞③ 器楽③	ミュージカルの鑑賞を行う。 鍵盤楽器や打楽器の奏法を習得する。	4 2	ワークシート レポート		観察 観察
			平易な器楽合奏曲を演奏する。				
	11	創作② アンサンブル② 鑑賞④	リズムアンサンブルの構成を工夫する。 リズムアンサンブルを創作し発表する。 様々なアンサンブル曲を味わう。	1 2	ワークシート	レポート	観察
			様々な表現形態の魅力とアンサンブルをする上でのポイントを知る。				
	12	器楽④ 創作③	－中間考査－ 美しい演奏表現を求める。	6	定期考査 発表	定期考査 発表	発表
	1	歌唱⑥	フレーズや曲想が伝わる演奏表現をする。 日本歌曲に親しむ。	1	レポート 定期考査	定期考査	観察
	2	鑑賞⑤	－期末考査－ 日本の伝統楽器・民族楽器の演奏を味わう。 伝統楽器・民族楽器による音楽を知る。	2	レポート		観察
	3		－まとめ－				
備考				合計	39		

教科名	芸術	科目名	書道 I	単数	4
対象学年	2年 E群	一般・通信	必修・ <u>選択必修</u> ・選択		
科目の目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				
学習内容の概要	1 表現 (1) 漢字仮名交じりの書 (2) 漢字の書 (3) 仮名の書 2 鑑賞 (1) 鑑賞				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身につけ、表している。	思考・判断・表現【思】 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	主体的に学習に取り組む態度【態】 主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。		
教科書、教材など	『書 I』・『書 I プライマリーブック』（教育図書）				
授業形態	一斉授業・個別指導				

年 間 授 業 計 画							
学期	月	単 元	学習内容 (ねらい)	時間	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	書へのいざない	・漢字の書体の変遷と、仮名の誕生について理解する。 ・姿勢や執筆など、書の基本を身に付ける。	2	レポート	レポート	観察
	5	鑑賞へのいざない	・書のさまざまな鑑賞形式に触れる。	2			ワークシート
		楷書	・楷書の特徴を理解し、楷書古典の書風の相違を感得する。	5	レポート	レポート 作品提出	観察
	6	【定期考査】	・隋・唐の書の文化について知る。	1	レポート	レポート	
		行書	・行書の特徴を理解し、行書古典の書風の相違を感得する。	5	レポート	レポート 作品提出	観察
	7				レポート		
	8	【定期考査】		1	レポート		
	9	草書	・草書の生まれた背景を知り、特徴を理解する。	4		レポート 作品提出	観察
2	10	隸書	・隸書の生まれた背景を知り、特徴を理解する。	3	レポート	レポート 作品提出	観察
	11	篆書	・篆書の生まれた背景を知り、特徴を理解する。 ・篆刻の基本を知り、自分を表す印を作成する。	4	レポート	レポート 作品提出	観察
		【定期考査】		1			
	12	仮名の書	・仮名の生まれた背景と変遷を理解する。仮名の基本用筆を学ぶ。 ・平仮名、変体仮名を学ぶ。	4	レポート	レポート 作品提出	観察
	1				レポート	レポート 作品提出	
		漢字仮名交じりの書	・漢字と仮名による日本語表記とその変遷を知る。	4			観察
	2	【定期考査】	・生活の中の書を心を込めて書く。	1			
	3						
		鑑賞へのいざない	・自分と書との関わりに関心を持つ。	2			ワークシート
備考				合計	39		

教 科 名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅡ	単数	4
対象学年	2年	一般・通信	必修・選択必修・選択		
科目の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと（五つの領域）の言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して情報や考え等を的確に理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。また、外国語の背景にある文化についての理解を深め、伝える相手に配慮しながら、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。				
学習内容の概要	1）音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを言語活動を通して理解し、コミュニケーションにおいて活用できるスキルを身に付ける。 2）コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報を整理し、日常的・社会的な話題について考え、英語で表現したり、伝え合ったりする。 3）五つの領域別及び複数の領域の統合的な言語活動を行う。その際に、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮し 一定の支援を活用しながら、主体的に取り組む態度を示す。 例）聞き取った内容について話したり、書いたりして伝え合う。読んだ内容について話したり、書いたりして伝え合う。情報や考え、気持などを即興で話して伝え合う。対話や説明などを聞いたり、読んだりして、賛成や反対の立場から理由や根拠とともに情報や考えを整理して、説明や討論をしたり、意見交換したりする。情報、考え、気持などを理由や根拠をもとに書いて伝える。等				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを、使用する語句や文、情報量などについて多くの支援を活用して理解したり、やりとりしたり、聞いたり、読んだりすることが出来る。また、外国の文化についての知識を基にして、内容の概要や要点、詳細を捉える事が出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しつつ、客観的且つ説得力のある理由や根拠をもとに、考えを話したり、書いたりして伝えることが出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しつつ、自分の考えを積極的に話したり、書いたりして効果的に伝えようとする。また、読んだり、聞いたり、相手とやりとりした内容を理解し、不明な点について質疑応答することが出来る。		
教科書、教材など	Amity English Communication Ⅱ（開隆堂）				
授 業 形 態	一斉授業				
年 間 授 業 計 画					
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	時	評 価
一学期・前期	4	GET READY 1～4	○言語材料：5文型など ○ねらい：説明する、報告する、描写するなどに必要な基本的な既習表現を復習する。	6	【知】 小テスト・ワークシート 【思】 題材についての自パフォーマンス課題 【態】 観察・ワークシート・パフォーマンス課題
	5	Lesson 1 Okinawa	○言語材料：be動詞・一般動詞の現在形・助動詞 ○ねらい：沖縄についてやり取りしたり、訪れてみたい観光地について紹介したりできるようになる。	13	
	6	Lesson 2 The History of Japanese Food	○言語材料：be動詞・一般動詞の過去形・動名詞 ○ねらい：食事についてやり取りしたり、友達が好きな食べ物について紹介したりできるようになる。	13	
		前期中間考査	○聴き取り・筆記問	1	
	7	Lesson 3 Volunteer Work	○言語材料：不定詞・受動態 ○ねらい：ボランティアについてやり取りしたり、参加してみたいボランティア活動について書くことができるようになる。	18	【知】 小テスト・ワークシート 【思】 パフォーマンス課題・レポート 【態】 観察・ワークシート・パフォーマンス課題・レポート
	8				

二 学 期 ・ 後 期	9	Lesson 4 Gacha-gacha	○言語材料：第4・5文型 ○ねらい：ガチャガチャの景品についてやり取りしたり、景品だったらうれしい物について説明できるようになる。	17	小テスト・ワー クシート	パフォーマンス 課題	観察・ワークシ ート・パフォー マンス課題
		Lesson 5 Interesting Aquariums	○言語材料：不定詞（形式主語など） ○ねらい：水族館についてやり取りしたり、水族館と動物園のどちらが好きか説明できるようになる。	17			
		1学期既習事項の復 習	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：語彙・文法を中心に既習事項について問題演習等をおして復習する。	5			
		前期期末考査	○聴き取り・筆記問・実技評価等※授業内実施	1			実技評価等
	10	Lesson 6 The Relay of Ahmed's Life	○言語材料：知覚動詞・使役動詞 ○ねらい：将来の夢についてやり取りしたり、パレスチナとイスラエルの問題について発表できるようになる。	16	小テスト・ワー クシート)	パフォーマンス 課題	観察・ワークシ ート・パフォー マンス課題
		11 Communicate+ 1	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：電話やメールで友人を買い物に誘う場面のやり取りできるようになる。	2			
		12 Lesson 7 Artificial Intelligence	○言語材料：接続詞・前置詞 ○ねらい：AIについてやり取りしたり、理想のAIロボットについて視覚資料を用いて説明できるようになる。	16			
		1 Focus+ 1	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：校則について話し合ったり、現在完了のイメージを理解することができるようになる。	2			
		後期中間考査	○聴き取り・筆記問	1		聴き取り・筆記問題のスコア	実技評価等
		Lesson 8 Mystery of Colors	○言語材料：現在完了・現在完了進行形 ○ねらい：好きな色について説明できるようになる。	6		パフォーマンス 課題・レポート	観察・ワークシ ート・パフォー マンス課題・レ ポート
		Lesson 9 Street Performers	○言語材料：分詞（形容詞的用法）・分詞構文 ○ねらい：好きなアーティストについて書くことができるようになる。	6			
		Lesson 10 The Culture of Selfies	○言語材料：関係代名詞（非制限用法） ○ねらい：お気に入りのセルフ写真を用いて、好きな理由を含め、その写真の説明ができるようになる。	6			
		2 Lesson 11 Finland	○言語材料：関係副詞 ○ねらい：フィンランドの魅力について紹介できるようになる。	6			
		Lesson 12 In Order to Spend Happy Life	○言語材料：仮定法（過去・過去完了） ○ねらい：過去の自分を振り返り、将来の希望にについて書くことができるようになる。	8		パフォーマンス 課題・レポート	観察・ワークシ ート・パフォー マンス課題・レ ポート
		後期期末考査	○聴き取り・筆記問	1		聴き取り・筆記問題のスコア	実技評価等
		3 本年度既習事項の復 習	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：語彙・文法を中心に既習事項について問題演習等をおして復習する。また、それらを活用して即興での短いやり取りを行うことができるようになる。	8		筆記問題のスコア	実技評価等
	備 考			合計	156		

教科名	外国語	科目名	論理・表現Ⅰ	単数	3		
対象学年	2年 C群	一般・通信	必修・選択必修・選択				
科目の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語によるやり取り、話すこと（発表）、書くことの3つの領域の言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、実際のコミュニケーションの場面において目的や場面、状況に応じて情報や考え等を的確に理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。						
学習内容の概要	・ 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりする。 ・ ディベートやディスカッションなどの活動を行う。意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合う練習を行う。 ・ スピーチやプレゼンテーションなどの活動を行う。意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合う。						
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】 基本的な語句や文についての知識を活用して、情報や考え方、気持ちを話したり、書いたりして、効果的に伝え合うことが出来る。	思考・判断・表現【思】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら、自分なりの理由や根拠をもとに、考えや気持ちを話したり、書いたりして伝えることが出来る。	主体的に学習に取り組む態度【態】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちを積極的に話したり、書いたりして伝えようとする。また、相手とやりとりした内容を理解し、不明な点について質疑応答することが出来る。				
教科書、教材など	Amity English Logic and Expression Ⅰ（開隆堂）						
授業形態	一斉授業						
年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	単元	評価		
					【知】	【思】	【態】
一学期・前期	4	Pre-Lesson 1～4	言語材料：日常的語彙、基本的な文構造の理解	4	小テスト・ワークシート	やり取り、ショートエッセイ、発表活動	観察・ワークシートなど
		Lesson 1	言語材料：現在形 言語活動：やり取り「どうぞ、よろしく」	4			
		Lesson 2	言語材料：過去形 言語活動：やり取り「昨日、うれしかったこと」	4			
		Action! Part 1	言語材料：既習事項・会話表現 言語活動「英語でインタビュー」	4			
		Lesson 3	言語材料：進行形 言語活動やり取り「絵を見て説明しよう」	4			
		Lesson 4	言語材料：未来表現：will/be going to 言語活動：ロールプレイ「ニュースの天気予報に挑戦」	4			
	6	Scene 1	言語材料：既習事項 言語活動：ロールプレイ「マク○ナル○で昼食を」	4			
		前期中間考査	筆記問題	1	考査の得点		
	7	Lesson 5	言語材料：助動詞①can/may 言語活動：やり取り「友達にお願いしよう」	4	小テスト・ワークシート	やり取り、エッセイ、発表活動	観察・ワークシートなど
		Lesson 6	言語材料：助動詞②must 言語活動：やり取り「校則あれこれ」	5			
		8	Action! Part 2	言語材料：既習事項 言語活動：やり取り「富士山に登る時、しないといけないことは？」			
			Lesson 7	言語材料：現在完了①完了・結果・経験 言語活動：やり取り「今までに○○したことがある？」	5		

二 学 期 ・ 後 期		Lesson 8	言語材料：現在完了②継続・完了進行形 言語活動：やり取り「ずっと〇〇しています。」	5			
		Skill Up①	言語材料：既習事項 発表活動「私の「押し」を紹介します」	7			
		9 前期期末考査	筆記問題	1			
	10	Lesson 9	言語材料：受動態 言語活動：ショート・エッセイ「私のお気に入りの漫画」	4	小テスト・ ワークシ ート	やり取り、 エッセイ、 発表活動	観察・ワー クシートな ど
		Lesson 10	言語材料：比較①比較級・最上級 言語活動「絵を見て言ってみよう」①	4			
		Lesson 11	言語材料：比較②同等比較・倍数表現 言語活動「絵を見て言ってみよう」②	4			
		Action! Part 3	言語材料：既習事項 言語活動：「最も〇〇なもののクイズ大会」	2			
		Scene 2	言語材料：既習事項・会話表現 言語活動：ロールプレイ「道案内をお願いします。」	2			
		11 Lesson 12	言語材料：動名詞 言語活動：ショート・エッセイ「私の夢」	4			
		Lesson 13	言語材料：不定詞①名詞的用法他 言語活動：発表活動「私の夢」	4			
		後期中間考査	筆記問題	1			
		12 Skill Up②	言語材料：既習事項・文構成についての知識 言語活動：ショート・エッセイ「高校生はアルバイトをすべきか？」	2	小テスト・ ワークシ ート	やり取り、 エッセイ、 発表活動	観察・ワー クシートな ど
		Lesson 14	言語材料：不定詞②副詞的・形容詞的用法 言語活動：やり取り「絵を見て言ってみよう①」	4			
		Lesson 15 あの 子は誰？	言語材料：分詞 言語活動：やり取り「絵を見て言ってみよう②」	3			
		1 Scene 3	言語材料：既習事項・会話表現 言語活動：ロールプレイ「土産屋にて」	2			
		Lesson 16	言語材料：関係代名詞①主格・目的格 言語活動：やり取り「地元企業見学の思い出」	4			
		Action! Part 4	言語材料：既習事項・会話表現 言語活動：発表活動「日本のお土産を紹介」	2	小テスト・ ワークシ ート	やり取り、 ショートエ ッセイ、発 表活動	観察・ワー クシートな ど
		Lesson 17	言語材料：関係代名詞②what 言語活動：やり取り「〇〇なことは・・・」	4			
		2 Lesson 18	言語材料：関係副詞where/when 言語活動：ショート・エッセイ「地元のおすすめ観光スポット」	3			
		Lesson 19 もし も私が…	言語材料：仮定法過去 言語活動：やり取り「もし私が〇〇だったら」	3			
		Lesson 20 おで かけするなら？	言語材料：接続詞 言語活動：「2つの文をつなげてみよう」	3			
		後期期末考査	筆記問題	1			
		まとめ	言語材料：年間の既習事項 ※問題演習による語彙・文法事項の復習	2			
	3						
備 考			合計	117			

教 科 名		外国語	科目名	ディベート・ディスカッションⅠ	単位数	2	
対象学年		2年 E群	一般・通信	必修・選択必修・選択			
科目の目標		外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語によるやり取り、話すこと（やり取り）」と複数の領域の言語活動を結び付けた統合的な言語活動を通して、ディベートやディスカッションなどの「話すこと [やり取り]」を中心とした発信能力及び論理的な思考力や表現力の育成を強化する。資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、賛成又は反対の立場をとった上で、論理的に一貫性のある議論を展開することや、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。					
学習内容の概要		日常的な話題や社会的な話題に関する論題について、ディベートやディスカッションなどの活動を行う。意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合う練習を行う。論証文や英文資料などを読んで、論点を整理するとともに、それらを活用して自説の優位性を示す情報や考えを詳しく話して伝え合ったり、相手の意見に質問や反論したりするディベートをする。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする。					
科目の評価の観点及びその趣旨		知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】			
		語句や文についての十分な知識を活用して、論点を整理し、意見や主張を話したり、書いたりして、効果的に伝え合うことができる。	論点、賛成反対等の自身の立場を明確にし、反対意見について想定ながら、自説の優位性を示す情報や考えを吟味し、それらをもとに、話したり、書いたりして、意見を主張することが出来る。	相手の反対意見に配慮しながら、自分の意見や主張を話したり、書いたりして、主体的且つ積極的に伝えようとする。			
教科書、教材など		Watching Joyful 2022→2023（浜島書店編集部）					
授業形態		一斉授業					
年 間 授 業 計 画							
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	時間	評 価		
					【知】	【思】	【態】
一学期・前期	4	Lesson 1 50 Years of Kamen Rider	意見文：「私が考えるヒーローの条件」	2	言語材料の機能等について理解し、読んだり、聞いた、やり取りした概要・要点を把握できる。（小テスト・ワークシート）	題材についての自分の考えや気持ちを話したり、書いたり、やり取りして伝える事が出来る。（やり取り、市ショートエッセイ、発表活動）	自分の考えや気持ちを主体的に伝えようとし、相手の発言について質疑応答等して理解しようとする。（観察・ワークシートなど）
		Lesson 2 Shogi Player: Fujii Sota	やり取り：「憧れの著名人」	2			
	5	Lesson 3 Technology Creates New Sports	討論：命題「サッカーこそが日本を代表するスポーツはである」	3			
		Lesson 4 A Little Animal Called Cheburashka	やり取り：「スタジオジブリのアニメーションが日本で最も優れている」	2			
	6	前期中間考査	筆記問題	2	考査の得点		
		Lesson 5 River of Five Colors	発表活動：「国外・国内の環境問題について」	2			
	7	Lesson 6 Kime tsu no Yaiba Boom	やり取り：「おすすめのアニメ」	3			
	8						

		Lesson 7 Antarctic Exploration	意見文：「環境保護と観光を両立するために必要なこと」。	2			
		前期期末考査	筆記問題	2	考査の得点		
二 学 期 ・ 後 期	9	Lesson 8 Quiz Knock Tells Fun of Learning	やり取り：好きなYoutuberについて紹介する。	1	言語材料の機能等について理解し、読んだり、聞いた り、やりとりした 概要・要点を把握 できる。（小テスト・ワークシート）	題材についての自分の考えや気持ちを話したり、書いたり、やり取りして伝える事が出来る。（やり取り、市ショートエッセイ、発表活動）	自分の考えや気持ちを主体的に伝えようとし、相手の発言について質疑応答等して理解しようとする。（観察・ワークシートなど）
		Lesson 9 High School Udon Ambassadors	討論：命題「高校生はアルバイトをすべきである」	3			
		Lesson 10 Beautiful Country: Finland	発表活動：「行ってみたい国について」	3			
		後期中間考査	筆記問題	2	考査の得点		
		Lesson 11 What Do You Want to Be?	やり取り：「私の将来の夢」	2			
		Lesson 12 Vinegar for Your Health	討論：「臓器移植の是非について」	4			
		前期期末考査	筆記問題	2	考査の得点		
		まとめ	年間既習事項の復習（主に語彙・文法事項）	2			
		備 考			39		

教科名	外国語	科目名	総合英語Ⅰ	単数	4		
対象学年	2年次 A群	一般・通信	必修	選択必修・選択			
科目の目標	五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、英語によるコミュニケーションを図る資質・能力を一層伸ばすために、五つの領域の総合的な指導を行う。聞いたり読んだりしたこと、概要や要点を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようにすることを目標とする。						
学習内容の概要	音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを言語活動を通して理解し、コミュニケーションにおいて活用できるスキルを身に付ける。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報を整理し、日常的・社会的な話題について考え、対話や説明、放送などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握し、英語で話したり、書いたりして伝え合う。						
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】				
	音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを、使用する語句や文、情報量などについて多くの支援を活用して理解したり、やりとりしたり、聞いたり、読んだりすることが出来る。また、内容の概要や要点を捉える事が出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら、理由や根拠をもとに、考えや気持ちを話したり、書いたりして伝えることが出来る。また、自ら課題を設定し、必要な資料を揃え、それについて調べ、まとめて伝えることが出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちを積極的に話したり、書いたりして伝えようとする。また、読んだり、聞いたり、相手とやりとりした内容を理解し、不明な点について質疑応答することが出来る。				
教科書、教材など	英語総合問題演習ブロッサム1（文英堂）						
授業形態	一斉授業						
年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	単数	評価		
一学期・前期	4	Unit 1	題 材：ラグビーのはじまり 言語教材：文のパターンと動詞 言語活動：私の好きなスポーツ（対話・面接）	11	小テスト・ワークシート	パフォーマンス課題・レポート	観察・ワークシート
	5	Unit 2	題 材：風船が届けたすてきな夢 言語材料：時制（現在・過去） 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）	10			
	6	Unit 3	題 材：米寿の祝いと数え年 言語材料：時制（未来） 言語活動：私が紹介したい日本（レポート・英作文）	11			
		前期中間考査	○聴き取り・筆記問	1	聴き取り・筆記問題のスコア		
	7	Unit 4	題 材：スマートフォンを探してくれたイルカ 言語材料：現在進行形・過去進行形 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）	10	小テスト・ワークシート	パフォーマンス課題・レポート・課題研究	観察・ワークシート
		Unit 5	題 材：ニューヨークでのラーメン人気 言語材料：現在完了 言語活動：英語で伝える和食のレシピ（レポート・英作文）	11			

	8	Unit 6	題 材：ワークショップへの案内 言語材料：助動詞 課題研究：①導入説明・テーマの決定	11				
	9	Unit 7	題 材：地球温暖化にともなう氷河の変化 言語材料：受動態 課題研究：②原稿作成	12				
		前期期末考査	○聴き取り・筆記問・実技評価等※授業内実施	1	聴き取り・筆記問題のスコア		実技評価等	
二 学 期 ・ 後 期	10	Unit 8	題 材：絵画展での悲劇 言語材料：不定詞① 課題研究：③原稿作成	9	小テスト・ワーク シート	課題研究	観察・ワークシ ート	
		Unit 9	題 材：盲導犬の飼い主カップル 言語材料：不定詞② 課題研究：④原稿作成	9				
	11	Unit 10	題 材：タイの正月の祝い方 言語教材：動名詞 課題研究：⑤原稿作成・プレゼンテーション資 料作成	9				
	11	Unit 11	題 材：日本の新たな地図記号 言語材料：分詞 課題研究：⑥プレゼンテーション資料作成・最 終調整	9				
	12	後期中間考査	○聴き取り・筆記問	1	聴き取り・筆記問題のスコア			
		Unit 12	題 材：クッキー泥棒 言語材料：関係代名詞① 課題研究：⑦プレゼンテーション資料作成・最 終調整	9	小テスト・ワーク シート	課題研究・パフォ ーマンス課題	観察・ワークシ ート	
	1	Unit 13	題 材：タコの生態 言語材料：関係代名詞② 課題研究：⑧発表・評価	9				
		Unit 14	題 材：東京圏の電車の混雑 言語教材：比較① 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）	10				
	2	Unit 15	ゴールデン・ゲート・ブリッジの歴史 言語材料：比較② 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）	9				
	3	後期期末考査	○聴き取り・筆記問・実技評価※授業内実施	1	聴き取り・筆記問題のスコア		実技評価等	
		まとめ	年間既習事項のうち、語彙・文法事項について の総復習	3	小テスト		観察	
	備 考				合計	156		

教 科 名		外国語	科目名	総合英語Ⅰ	単位数	3	
対象学年		新課程 2 年次	一般・通信	必修 選択必修・選択			
科目の目標		五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、英語によるコミュニケーションを図る資質・能力を一層伸ばすために、五つの領域の総合的な指導を行う。聞いたり読んだりしたこと、の概要や要点を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようにすることを目標とする。					
学習内容の概要		音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを言語活動を通して理解し、コミュニケーションにおいて活用できるスキルを身に付ける。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報を整理し、日常的・社会的な話題について考え、対話や説明、放送などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握し、英語で話したり、書いたりして伝え合う。					
科目の評価の観点及びその趣旨		知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】			
		音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを、使用する語句や文、情報量などについて多くの支援を活用して理解したり、やりとりしたり、聞いたり、読んだりすることが出来る。また、内容の概要や要点を捉える事が出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら、理由や根拠をもとに、考えや気持ちを話したり、書いたりして伝えることが出来る。また、自ら課題を設定し、必要な資料を揃え、それについて調べ、まとめて伝えることが出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちを積極的に話したり、書いたりして伝えようとする。また、読んだり、聞いたり、相手とやりとりした内容を理解し、不明な点について質疑応答することが出来る。			
教科書、教材など		英語総合問題演習ブロッサム1（文英堂）					
授 業 形 態		一斉授業					
年 間 授 業 計 画							
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	単元	評 価		
					【知】	【思】	【態】
一学期・前期	4	Unit 1	題 材：ラグビーのはじまり 言語教材：文のパターンと動詞 言語活動：私の好きなスポーツ（対話・面接）	8	小テスト・ワークシート	パフォーマンス課題・レポート	観察・ワークシート
	5	Unit 2	題 材：風船が届けたすてきな夢 言語材料：時制（現在・過去） 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）	8			
	6	Unit 3	題 材：米寿の祝いと数え年 言語材料：時制（未来） 言語活動：私が紹介したい日本（レポート・英作文）	8			
		前期中間考査	○聴き取り・筆記問	1	聴き取り・筆記問題のスコア		
	7	Unit 4	題 材：スマートフォンを探してくれたイルカ 言語材料：現在進行形・過去進行形 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）	8	小テスト・ワークシート	パフォーマンス課題・レポート・課題研究	観察・ワークシート
		Unit 5	題 材：ニューヨークでのラーメン人気 言語材料：現在完了 言語活動：英語で伝える和食のレシピ（レポート・英作文）	8			

	8	Unit 6	題 材：ワークショップへの案内 言語材料：助動詞 課題研究：①導入説明・テーマの決定	8				
	9	Unit 7	題 材：地球温暖化にともなう氷河の変化 言語材料：受動態 課題研究：②原稿作成	9				
	前期期末考査		○聴き取り・筆記問・実技評価等※授業内実施	1				聴き取り・筆記問題のスコア
二 学 期 ・ 後 期	10	Unit 8	題 材：絵画展での悲劇 言語材料：不定詞① 課題研究：③原稿作成	7	小テスト・ワーク シート	課題研究	観察・ワークシー ト	
		Unit 9	題 材：盲導犬の飼い主カップル 言語材料：不定詞② 課題研究：④原稿作成	7				
	11	Unit 10	題 材：タイの正月の祝い方 言語教材：動名詞 課題研究：⑤原稿作成・プレゼンテーション資 料作成	7				
	11	Unit 11	題 材：日本の新たな地図記号 言語材料：分詞 課題研究：⑥プレゼンテーション資料作成・最 終調整	7				
	12	後期中間考査	○聴き取り・筆記問	1				聴き取り・筆記問題のスコア
	1		Unit 12	題 材：クッキー泥棒 言語材料：関係代名詞① 課題研究：⑦プレゼンテーション資料作成・最 終調整	7	小テスト・ワーク シート	課題研究・パフォ ーマンス課題	観察・ワークシー ト
			Unit 13	題 材：タコの生態 言語材料：関係代名詞② 課題研究：⑧発表・評価	7			
			Unit 14	題 材：東京圏の電車の混雑 言語教材：比較① 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）	6			
		2	Unit 15	ゴールデン・ゲート・ブリッジの歴史 言語材料：比較② 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）	6			
		3	後期期末考査	○聴き取り・筆記問・実技評価※授業内実施	1			
		まとめ	年間既習事項のうち、語彙・文法事項について の総復習	2	小テスト		観察	
備 考				合計	117			

教科名		外国語	科目名	エッセイ・ライティング I	単数	4	
対象学年		新課程 2 年次	一般・通信	必修修・選択必修修・選択			
科目の目標		「読むこと」、「聞くこと」と「書くこと」を結び付けた活動を通して、発信能や論理的思考力、表現力を育成する。資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちや意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、複数の段落で構成された文章を作成し、「書いて伝えること」ができるようにする。					
学習内容の概要		目的や場面・状況などに応じた論理の構成や展開を理解し、それに応じて適切な表現や文体を選んで、英語でエッセイを書く。					
科目の評価の観点 及びその趣旨		知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】			
		語、慣用表現、文の構造や文法事項について理解し、読んだり聞いたりした内容についての的確に把握できる。また、与えられた題材について、論理の構成や展開を工夫したエッセイを書くことができる。	目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら、説得力のある理由や根拠をもとに、考えをまとめ、書いて伝えることができる。	目的や場面、状況などに応じて、自分の考えを積極的に話したり、書いたりして伝えようとする。また、読んだり、聞いたりした内容について、不明な点があれば、自ら質疑応答することが出来る。			
教科書、教材など		Select English Expression I New Edition (三省堂)					
授業形態		一斉授業					
年間授業計画							
期	月	単元	学習内容（ねらい）	時間	評価		
一学期・前期	4	Lesson 1	題 材：自己紹介 [あいさつ] 言語材料：現在形（be動詞／一般動詞） エッセイ：みなさん、はじめまして	2	小テスト・ワークシート	エッセイ	観察・ワークシート
		Lesson 2	題 材：宇宙で食事 [世界の食文化] 言語材料：過去形（be動詞／一般動詞） エッセイ：ALTに伝えたい日本食	2			
		Lesson 3	題 材：世界へ羽ばたけ [スポーツ] 言語材料：進行形：現在進行形／過去進行形 エッセイ：パラスポーツを紹介	2			
		Lesson 4	題 材：エーゲ海の島へ [旅行] 言語材料：未来表現（will／be going to） エッセイ：ALTに伝えたい鳥取県の魅力	2			
	7	前期中間考査	聴き取り・筆記問題	1	考査の得点		
		Lesson 5	題 材：アイドル [芸能] 言語材料：現在完了形①（継続／経験） エッセイ：わたしの「押し」紹介	2	小テスト・ワークシート	エッセイ	観察・ワークシート
		Lesson 6	題 材：祭りだ！祭りだ！ [日本文化] 言語材料：現在完了形②（完了・完了進行形） エッセイ：ALTに伝えたい日本の祭りの魅力	2			
	Lesson 7	題 材：未来のエネルギー [環境] 言語活動：助動詞①（can／may） エッセイ：我が家の省エネ対策	2				
	8						

9	Lesson 8	題 材：世界平和のために [国際社会] 言語材料：助動詞② (must／shouldなど) エッセイ：戦争と平和がテーマの映画を観て、 鑑賞文を書こう	2			
	前期期末考査	聴き取り・筆記問題	1	考査の得点		
		題 材：沖縄美ら海水族館 [生き物] 言語材料：不定詞① (副詞的・名詞的用法) エッセイ：行くなら水族館？動物園？	2	小テスト・ワーク シート	エッセイ	観察・ワークシ ー ト
二 学 期 ・ 後 期	Lesson 10	題 材：未来を切り拓く [生き方] 言語材料：不定詞② (形容詞的用法 他) エッセイ：私の好きな偉人とその生き方	1			
	Lesson 11	題 材：はやぶさ 2 の挑戦[自然科学] 言語材料：動名詞 エッセイ：架空の星の物語 (創作)	2			
	Lesson 12	題 材：不思議な絵[芸術] 言語材料：受動態 エッセイ：絵を見て物語を書こう (創作)	2			
	Lesson 13	題 材：ヒエログリフ [外国語・ことば] 言語材料：分詞 (現在分詞／過去分詞) エッセイ：ヒエログリフで伝えちゃおう！	2			
	後期中間考査	聴き取り・筆記問題	1	考査の得点		
	Lesson 14	題 材：私たちの街にガオー [ご当地] 言語材料：関係代名詞 (that／who／which) エッセイ：わが町のヒーローを紹介	2	小テスト・ワーク シート	エッセイ	観察・ワークシ ー ト
	Lesson 15	題 材：書道甲子園 [活躍する高校生] 言語材料：関係代名詞・関係副詞 エッセイ：世界で活躍する日本の高校生	2			
	Lesson 16	題 材：どれが一番？ [地理] 言語材料：比較級／最上級／as…as～ エッセイ：お気に入りのランドマークを紹介	2			
	Lesson 17	題 材：限りある水 [国際協力] 言語材料：知覚動詞／使役動詞 エッセイ：日本の水に関する問題	2			
	Lesson 18	題 材：ピサの斜塔 [世界遺産] 言語材料：仮定法過去 エッセイ：訪れてみたい世界遺産	2			
	後期期末考査	聴き取り・筆記問題	1	考査の得点		
備 考			合計	39		